

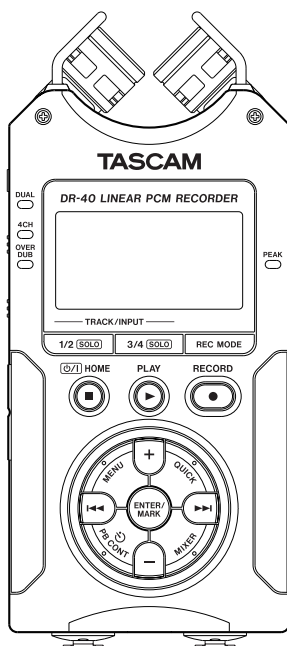
TASCAM

D01242101D

DR-40

Linear PCM Recorder

リファレンスマニュアル



目次

第1章 はじめに	4	録音する (モノラル/ステレオ録音).....	26
本機の概要.....	4	録音の設定をする.....	26
本書の表記.....	4	ファイルの保存先を設定する.....	27
商標および著作権に関して.....	5	録音を開始する.....	27
SDカードについて.....	5	モノラル/ステレオ録音時のファイル名.....	27
取り扱い上の注意.....	5	異なる入力レベルで同時に2系統の録音をする (デュアル録音).....	27
第2章 各部の名称と働き	6	デュアル録音の設定をする.....	27
トップパネル.....	6	デュアル録音を開始する.....	28
フロントパネル.....	8	デュアル録音時のファイル名.....	28
左サイドパネル.....	8	3チャンネルまたは4チャンネルで録音する.....	29
右サイドパネル.....	8	3チャンネルまたは4チャンネル録音を設定する.....	29
右サイドパネル.....	8	3チャンネルまたは4チャンネル録音を開始する.....	29
ボトムパネル.....	9	3チャンネルまたは4チャンネル録音時のファイル名.....	30
ホーム画面.....	10	再生音に入力音を重ねて録音する (オーバーダブ).....	30
録音画面.....	11	オーバーダブの設定をする.....	30
再生コントロール画面.....	12	入力音を重ねるファイルを選択する.....	31
メニューの構成.....	13	オーバーダブを実行する.....	31
メニューを使う.....	13	オーバーダブ録音時のファイル名.....	32
操作の基本.....	14	録音機能を自動で動作させる (オートレック機能).....	33
第3章 準備	15	録音中にファイルを切り換えて録音を続ける (トラックインクリメント).....	34
電源の準備.....	15	録音中に手動でファイルを分割する.....	34
電源について.....	15	設定した時間で自動的にファイルを分割する.....	34
単3形電池で使用する.....	15	マーク機能.....	35
ACアダプターで使用する (別売).....	15	録音中に手動でマークを付ける.....	35
USBバスパワーで使用する.....	16	録音中に自動でマークを付ける.....	35
電源をオンにする/オフにする.....	16	マークの位置への移動.....	35
電源をオンにする.....	16	低域カットフィルターを設定する.....	35
電源をオフにする.....	17	録音開始の少し前から録音する (ブリレック).....	36
リジューム機能.....	17	スレートトーン機能を使う.....	36
日時を設定する.....	17	スレートトーン機能を設定する.....	36
SDカードを挿入する/取り出す.....	18	スレートトーンの長さを設定する.....	37
挿入する.....	18	スレートトーンの音量を調節する.....	37
取り出す.....	18	セルフタイマー機能.....	37
SDカードのライトプロテクトについて.....	18	ソロ機能.....	37
SDカードを使えるようにする.....	19	録音時間について.....	38
内蔵スピーカーで再生する.....	19	第5章 ファイルやフォルダーの操作 (ファイル/フォルダー画面)	39
モニター用機器を接続する.....	19	ファイル/フォルダー画面内のナビゲーション.....	39
内蔵ステレオマイクについて.....	19	ファイル/フォルダー画面内のアイコン表示.....	39
広がりのあるステレオ録音設定をする (A-Bポジション).....	19	ファイル操作.....	40
クリアなステレオ録音設定をする (X-Yポジション).....	20	フォルダー操作.....	41
内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える.....	20	新しいフォルダーを作る.....	41
マイク位置検出について.....	21	第6章 再生	42
チルトフットを取り付ける.....	21	再生の音量を調節する.....	42
第4章 録音	22	再生範囲を設定する (再生対象).....	42
ファイル形式/サンプリング周波数を設定する (録音設定).....	22	ファイル/フォルダー画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する (1).....	43
入力の設定をする.....	22	ファイル/フォルダー画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する (2).....	43
内蔵ステレオマイクで録音する.....	22	再生リスト.....	44
外部マイクで録音する (EXT MIC IN).....	22	再生リストに登録する.....	44
外部機器から録音する (LINE IN).....	23	再生リストを編集する.....	44
外部入力の選択をする.....	23	再生するファイルを選択する (スキップ).....	45
ファントム電源について.....	23		
入力レベルを調節する.....	24		
手動で入力レベルを調節する.....	24		
EXT IN入力レベルのL/R個別設定機能.....	24		
入力レベル制御機能を使う.....	25		
録音モードについて.....	26		

再生する.....	45	SD完全初期化する.....	61
一時停止する.....	45	ファイル名の形式を設定する.....	62
停止する.....	45	ファイル名の形式.....	62
早戻し/早送りをする(サーチ).....	45	文字(ワード)の設定.....	62
繰り返し再生する(リピート).....	45	数字(番号)の初期化設定.....	62
特殊な再生(再生コントロール機能).....	46	第13章 REMOTE端子を使う.....	63
再生コントロール機能の設定.....	46	フットスイッチを使う(TASCAM RC-3F).....	63
指定した区間を繰り返し再生する(ループ再生).....	46	フットスイッチを設定する.....	63
再生スピードを変える(VSA機能).....	47	フットスイッチを使う.....	63
再生イコライザー(再生EQ)を使う.....	47	リモコンを使う(TASCAM RC-10).....	64
再生中に数秒前に戻り再生し直す(戻り再生).....	48	ワイヤードリモコンを設定する.....	64
デュアル録音したファイルの再生.....	48	ワイヤードリモコンを使う.....	64
オーバーダブ入力ミュート機能(再生時).....	48	第14章 メッセージ.....	65
ソロ機能.....	48	第15章 トラブルシューティング.....	67
第7章 再生クイック操作.....	49	第16章 仕様.....	68
QUICKボタンの概要.....	49	定格.....	68
クイックメニュー画面.....	49	入出力定格.....	68
クイックメニュー画面を閉じる.....	50	アナログオーディオ入出力定格.....	68
選択ファイルを削除する		コントロール入出力定格.....	68
(クイックデリート).....	50	オーディオ性能.....	68
選択ファイルを分割する(ファイル分割).....	51	一般.....	68
選択ファイルをマークの場所で自動分割する(マーク分		寸法図.....	70
割).....	52		
音圧感を上げて聴き取りやすくする			
(出力音量補正機能).....	53		
ミックスダウン.....	53		
第8章 エフェクター.....	54		
エフェクターを設定する.....	54		
エフェクターのプリセット一覧.....	54		
第9章 ミキサー.....	55		
ミキサーを設定する.....	55		
MSデコーダーを使用する.....	56		
入力音をデコードしながら録音する方法.....	56		
再生音をデコードする方法.....	56		
MSデコーダーの設定.....	56		
第10章 楽器をチューニングする(チューナー).....	57		
チューナーを使う.....	57		
チューナーを設定する.....	57		
チューニングする.....	57		
第11章 パソコンと接続する.....	58		
パソコンへファイルを取り出す.....	58		
パソコンからファイルを取り込む.....	58		
パソコンとの接続を解除する.....	58		
第12章 各種設定および情報表示.....	59		
情報を見る(インフォメーション).....	59		
ファイル情報ページ(FILE).....	59		
カード情報ページ(CARD).....	59		
システム情報ページ(SYSTEM).....	59		
環境設定(システム設定).....	60		
電源の自動電源制御機能の設定.....	60		
バックライトの設定.....	60		
ディスプレイのコントラスト調節.....	60		
電池の種類の設定.....	60		
ファントム電源の電圧値の設定.....	60		
言語を選択する.....	60		
初期設定に戻す.....	61		
SD初期化する.....	61		

本機の概要

- 記録メディアにSD / SDHC / SDXCカードを採用したコンパクトサイズのオーディオレコーダー
- 可動式 (X-Y / A-Bポジション録音対応) で高性能な指向性ステレオマイクを搭載
- マイクの開閉により音質の異なるステレオ録音が可能
 - 閉めた状態: 位相差を抑えたクリアなステレオ録音
 - 開いた状態: 広がりのあるステレオ録音
- MSマイクに対応したデコード機能を搭載
- 同時に最大4チャンネルの録音が可能
- 44.1k/48k/96kHz、16/24ビットのリニアPCM (WAV形式) 録音が可能
- BWFフォーマットに対応
- 32k ~ 320kbpsのMP3形式での録音が可能 (ID3 tag v2.4対応)
- 異なるレベルで2系統の録音を同時に行うことができるデュアル録音
- 再生音に入力信号をミックスして別ファイルとして録音することが可能なオーバーダブ機能 (ミックスモード)
- 再生音に入力信号を重ねて録音するときに、もとのファイルを残しながら新たに別ファイルにも録音するオーバーダブ機能 (セパレートモード)
- 0.3Wモノラル出力のモニタースピーカーを内蔵
- 録音時または再生時に使用可能な内蔵エフェクター (リバーブ) を搭載
- 音声の入力レベルを感知して、自動で録音の開始が行えるオートレック機能
- 編集時、動画ファイルとの同期に便利なスレートトーン挿入機能
- 状態に応じて必要な機能にすばやくアクセスするためのQUICKボタン搭載
- 録音を継続したまま、あらかじめ設定した時間や任意の位置でファイルを更新できるトラックインクリメント機能
- 録音開始2秒前からの音を録音できるプリレック機能
- 入力レベルが大きすぎる場合に、適度なレベルに自動的に入力レベル設定を下げるピーク検出機能
- 大きい音は小さく小さい音は大きくして常に最適なレベルで録音できる自動レベル調整機能
- 入力レベルが大きすぎる場合にその部分だけ適度なレベルに自動的に調節するリミッター機能
- 低域ノイズの低減に便利な低域カットフィルター
- 音程を変えずに再生スピードを0.5倍から1.5倍まで (0.1倍単位) 可変できるVSA機能
- リピート再生機能およびIN-OUTループ再生機能
- 再生スピードコントロール、IN-OUTループの設定を行う画面を表示するPB CONTボタン搭載
- 楽器の音程を合わせるためのチューナー機能
- 指定時間後に録音を開始するセルフタイマー機能
- 再生中にボタンのワンブッシュで数秒前に戻って再生し直す戻り再生機能
- 2系統の入力の距離差を解消するディレイ機能
- 再生リスト機能
- 特定の位置への移動に役立つマーク機能

- マーク機能で付けた特定の位置や任意の位置でファイルを分割するディバイド機能 (WAVファイルのみ)
- 再生イコライザー機能および、再生全体の音圧感を上げる出力音量補正機能
- ファイル名の形式をユーザーワードまたは日付のどちらかに設定可能
- 電源をオフにする前の再生位置を記憶しておくリジューム機能
- 3.5mm (1/8") ライン出力/ヘッドホン出力端子
- 128 x 64のバックライト付きドットマトリックスタイプLCD
- Mini-B タイプUSB 2.0端子
- 単3形電池3本、ACアダプター (別売: TASCAM PS-P520E) またはUSB/バスパワー供給
- 本体に三脚取り付け用穴を装備
- USBケーブル付属
- 2つのバランスマイク/ライン入力 (XLR/TRSコンボジャック)

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン/端子などを「MENUボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を **オン** のように表記します。
- 「SDメモリーカード」のことを「SDカード」と表記します。
- パソコンのディスプレイに表示される文字を「DR-40」のように () で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。



- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

SDカードについて

本機では、SDカードを使って録音や再生を行います。使用できるカードは、64MB～2GBのSDカード、4GB～32GBのSDHCカード、および48GB～128GBのSDXCカードです。

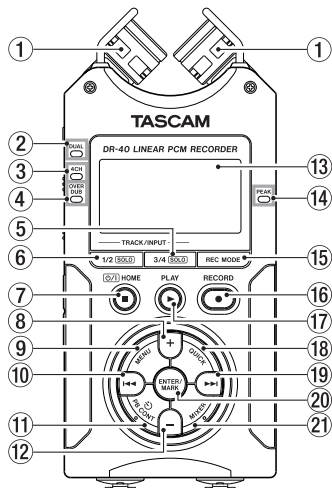
TASCAMのウェブサイト(<https://tascam.jp/jp/>)には、当社で動作確認済みのSDカードのリストが掲載されていますので、ご参照ください。もしくは、タスカムカスタマーサポートまでお問い合わせください。

取り扱い上の注意

SDカードは、精密にできています。SDカードの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を乗せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。

トップパネル



① 内蔵ステレオマイク

エレクトレットコンデンサタイプの指向性ステレオマイクです。マイクは、両方のマイクを開いた状態 (A-B)、閉じた状態 (X-Y) の2つの状態にすることができます。

② DUALインジケーター

デュアル録音モードで録音中に、オレンジ色に点灯します。

③ 4CHインジケーター

4CH録音モードで録音中に、オレンジ色に点灯します。

④ OVER DUBインジケーター

オーバーダブ録音モードで録音中に、オレンジ色に点灯します。

⑤ 3/4 [SOLO] ボタン

録音モードが4CH録音モードのときに押すと、3/4チャンネルの入力レベル設定状態を示すメーターがディスプレイにプルアップ表示します。

1/2チャンネルの入力レベルメーターをプルアップ表示中に押すと、3/4チャンネルの入力レベルメーターのプルアップ表示に切り換わります。

デュアル/4CHモードで録音または再生するときに長押しすると、モニターする音声を1-2からそれ以外に切り換える、SOLOボタンとして機能します。

長押しすると3/4チャンネルのソロ機能となります。オーバーダブ (セパレート) 録音モードのときに押すと、入力音と3/4チャンネルの再生音を切り換えることができます。

⑥ 1/2 [SOLO] ボタン

1/2チャンネルの入力レベル設定状態を示すメーターがディスプレイにプルアップ表示します。

3/4チャンネルの入力レベルメーターをプルアップ表示中に押すと、1/2チャンネルの入力レベルメーターのプルアップ表示に切り換わります。

デュアル/4CHモードで録音または再生するときに長押しすると、モニターする音声を1-2以外から1-2へ切り換える、SOLOボタンとして機能します。

長押しすると1/2チャンネルのソロ機能となります。

オーバーダブ (ミックス) 録音モードのときに押すと、入力音のミュートをすることができます。

⑦ 0/1 (HOME) [■] ボタン

再生中にこのボタンを押すと、その位置で再生を停止します (一時停止)。一時停止中にこのボタンを押すと、その再生ファイルの先頭に戻ります。

録音待機中または録音中にこのボタンを押すと、録音を停止します。

各種設定画面を表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。また、各種設定画面の操作では、確認のポップアップメッセージに対して「いいえ」と答えるときに使います。長く押すと、電源のオン/オフの切り換えを行います。

⑧ +ボタン

ホーム画面を表示中にこのボタンを押すと、内蔵スピーカーまたは Ω /LINE OUT端子から出力される音量を大きくします。調節中は、ボリューム位置がディスプレイの下部にプルアップ表示されます。

再生コントロール画面を表示中にこのボタンを押すと、再生スピードを早くします。

各種設定画面での操作時に項目を選択する、または選択肢/値を変更するときに使います。

⑨ MENUボタン

ホーム画面表示中にこのボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

各種設定画面を表示中に、このボタンを押したときも、メニュー画面に戻ります。

再生コントロール画面でIN点 (ループ再生の始点) およびOUT点 (終点) が設定されているときにこのボタンを押すと、ループ再生のオン/オフを切り換えます。

⑩ ◀◀ ボタン

再生中、またはファイルの途中で停止しているときにこのボタンを押すと、再生ファイルの先頭に戻ります。

現在位置から再生ファイルの先頭の間IN点 (ループ再生の始点) およびOUT点 (終点) が設定されているときには、IN点 (始点) またはOUT点 (終点) に移動します。

ファイルの先頭で停止しているときに押すと、手前のファイルにスキップします。

押し続けると早戻しサーチを行います。

ENTER/MARKボタンを押しながらこのボタンを押すと、前のマークに移動します。

各種設定画面を表示中に、画面内のカーソルを左に移動します。

ファイル/フォルダー画面では、階層に戻ります。

⑪ PB CONTボタン

このボタンを押すと、再生コントロール画面が表示されます。
再生コントロール画面表示中にこのボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。
録音待機中にこのボタンを押すと、セルフタイマー機能のオフ、時間の切り換えをします。

⑫ 一ボタン

ホーム画面を表示中にこのボタンを押すと、内蔵スピーカーまたは Ω /LINE OUT端子から出力される音量を小さくします。
調節中は、ボリューム位置がディスプレイの下部にブルアップ表示されます。
再生コントロール画面を表示中にこのボタンを押すと、再生スピードを遅くします。
各種設定画面での操作時に項目を選択する、または選択肢/値を変更するときに使います。

⑬ ディスプレー

各種情報を表示します。

⑭ PEAKインジケータ

録音する音のレベルが大きくなって歪む直前に赤く点灯します。

⑮ REC MODEボタン

このボタンを押すと、録音モード 画面を表示します。
録音モード 画面表示中にこのボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

⑯ RECORD [●] ボタン / RECインジケータ

停止中に押すと録音待機状態になり、RECインジケータが点滅します。録音中に押すと、録音一時停止になります。

⑰ PLAY [▶] ボタン

ホーム画面で停止中に押すと、再生を始めます。
再生中に押すと、戻り再生を行います。

⑱ QUICKボタン

ホーム画面で停止中 / 一時停止中 / 再生中 / 録音待機中、および再生コントロール画面を表示中にこのボタンを押すと、クイックメニュー画面を表示します。ボタンを押したときの本機の状態、表示される機能が異なります。

- 停止中：現在の再生ファイルの削除、分割、出力音量補正機能、ミックスダウン機能
- 再生中 / 再生コントロール画面：出力音量補正機能
- 録音待機中：入力レベル制御機能、内蔵マイクの左右入れ換え

ミキサー 画面：MSデコーダーの設定

ファイル / フォルダ 画面および 再生リスト 画面を表示中にこのボタンを押すと、ファイル / フォルダ操作のポップアップメニューを表示 / 非表示します。

⑲ ▶▶ ボタン

停止中または再生中にこのボタンを押すと、次のファイルにスキップします。

現在位置から再生ファイルの先頭の間にIN点（ループ再生の始点）およびOUT点（終点）が設定されているときには、IN点（始点）またはOUT点（終点）に移動します。

押し続けると早送りサーチを行います。

各種設定画面を表示中に、画面内のカーソルを右に移動します。

ENTER/MARKボタンを押しながらこのボタンを押すと、次のマークに移動します。

ファイル / フォルダ 画面では、階層を進みます。ファイルが選択されているときは、ファイルをロードしてホーム画面に戻り停止します。

⑳ ENTER/MARKボタン

各種設定画面の操作では、選択されている項目を決定する、または確認のポップアップメッセージに対して「はい」と答えるときに使います。

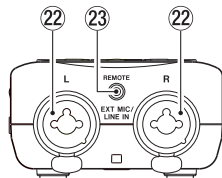
録音中に手でマークを付けるときに使用します。
このボタンを押しながら、◀ ボタンを押すと前のマークに、▶▶ ボタンを押すと次のマークへ移動します。また、再生コントロール画面表示中に、希望の区間をループ再生させるときのIN点（始点）とOUT点（終点）を設定します。

IN点（始点）とOUT点（終点）が設定されているときに、このボタンを押すと、IN点（始点）とOUT点（終点）がクリアされます。

㉑ MIXERボタン

このボタンを押すと、ミキサー 画面を表示します。
ミキサー 画面表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

フロントパネル



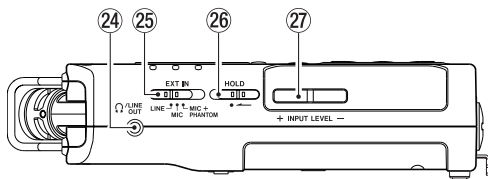
- ②② EXT MIC/LINE IN L / R端子 (XLR / TRS)
XLRバランスタイプのアナログマイク入力と、TRS標準ジャックのバランスアナログ入力端子です。

XLR (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)
TRS (Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

注意

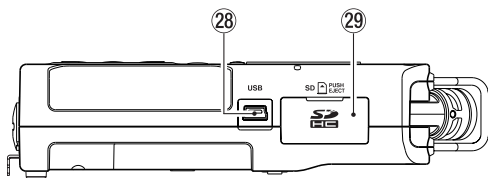
- EXT MIC/LINE IN端子にライン機器を接続する場合は、ファントム電源がオフになっていることを確認してください。ファントム電源が供給されている状態でライン機器を接続すると、ライン機器および本機の故障の原因になります。
 - ファントム電源スイッチをオンにした状態で、EXT MIC/LINE IN端子にマイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、機器が故障する恐れがあります。
 - ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、ファントム電源スイッチをオンにしてください。ファントム電源を必要としないダイナミックマイクなどを接続しているときにファントム電源をオンにすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
 - ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクとダイナミックマイクを合わせて使用する場合は、必ずバランスタイプのダイナミックマイクをご使用ください。アンバランスタイプのダイナミックマイクを混用することはできません。
 - リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- ②③ REMOTE端子 (φ2.5mm TRSジャック)
別売の専用フットスイッチ (TASCAM RC-3F)、専用ワイヤードリモコン (TASCAM RC-10) を接続します。リモコンによる再生、停止などの操作が可能になります。

左サイドパネル



- ②④ Ω /LINE OUT端子
ヘッドホンまたはステレオミニジャックケーブルを使用して外部機器のライン入力端子と接続します。
- ②⑤ EXT INスイッチ
EXT MIC/LINE IN端子のゲイン切り換えとファントム電源のオン/オフを選択します。
- ②⑥ HOLDスイッチ
左側にセット (矢印の方向に移動) するとホールド機能が働きます。ホールド中は、全てのボタン操作を受け付けません。
- ②⑦ INPUT LEVEL (+ / -) ボタン
入力レベルを調節します。調節中は、入力レベル設定状態をディスプレイにプルアップ表示します。

右サイドパネル



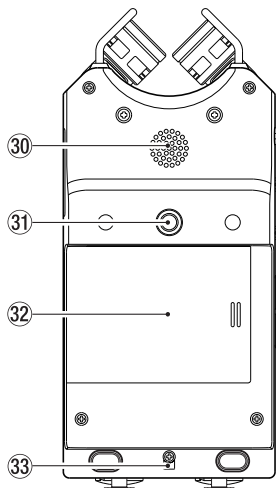
- ②⑧ USB端子
付属のUSBケーブルを使って、パソコンと接続するためのUSBポートです。(→ 58ページ「第11章 パソコンと接続する」)
付属のUSBケーブルまたは別売の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E) で電源を供給することができます。

注意

パソコンとの接続は、USBハブを経由せずに直接接続してください。

- ②⑨ SDカードスロット
SDカードの挿入/取り出しをします。

ボトムパネル



⑩ 内蔵モノラルスピーカー

モニター用の内蔵スピーカーです。

以下の状態では、スピーカーから音は出力されません。

- 録音待機中
- 録音中
- オーバーダブモード時
- ヘッドホン接続時
- スピーカー出力設定オフ時

⑪ 三脚またはチルトフット取り付け用穴
(1 / 4インチ)

本体に三脚や付属のチルトフットを取り付けることができます。

注意

- 本体の落下を防ぐため、三脚またはマイクスタンド各部分のネジを確実に締めてください。
- 三脚またはマイクスタンドに本体を取り付けて使用する場合は、三脚またはマイクスタンドを水平な場所に置いてください。

⑫ 電池ケース蓋

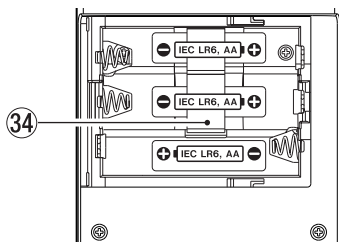
付属のチルトフットを使用しないときは、電池ケース蓋の内側の2つの突起の間に挟みこみ、収納ができます。

⑬ ストラップホルダー

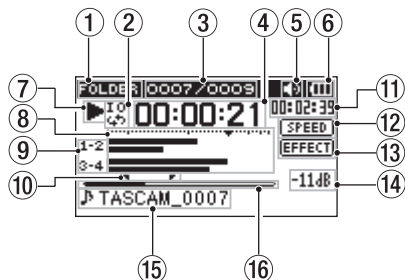
ストラップを取り付けます。

⑭ 電池ケース

本機の電源になる電池(単3形電池、3本)を収納するケースです。(→ 15ページ「単3形電池で使用する」)



ホーム画面



① 再生範囲表示

現在の再生ファイルの範囲を表示します。

- ALL : MUSICフォルダー内の全ファイル
- FOLDER : 選択したフォルダー内の全ファイル
- PLAYLIST : 再生リストに登録されたファイル

② ループ再生/リピート再生の設定状態表示

状況に応じて、以下のアイコンを表示します。

- ⏮️ : シングル再生
- 🔄 : 1ファイルリピート再生
- 🔁 : 全再生ファイルリピート再生
- 🌀 : ループ再生

③ カレント再生ファイル番号/総ファイル数

再生対象範囲の総ファイル数と現在のファイル番号を表示します。

④ 経過時間表示

現在のファイルの経過時間(時:分:秒)を表示します。

⑤ スピーカー出力表示

- 🔊 アイコン表示あり: スピーカー出力オン
- 🔇 アイコン表示なし: スピーカー出力オフ

⑥ 電源供給の状態表示

電池供給時は、電池アイコンを表示します。電池残量に応じて、目盛りが表示されます(🔋、🔋、🔋)。目盛り表示がなくなると🔋が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフになります。別売の専用ACアダプター(TASCAM PS-P520E)使用時およびUSBバスパワー供給時は、🔌を表示します。

メモ

残量がなくなる前でも録音など消費電力の大きい動作を行おうとすると、**電池残量が少ないです**の警告のポップアップメッセージが出ることがあります。

⑦ レコーダーの状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
■	停止中
⏸	一時停止中
▶	再生中
▶▶	早送り中
◀◀	早戻し中
▶▶▶	次のファイルの先頭にスキップ
◀◀◀	現在または手前のファイルの先頭にスキップ

⑧ レベルメーター

入力音または再生音のレベルを表示します。オーバーダブ・ミックスモード時は、入力音と再生音をミックスしたレベルを表示します。

⑨トラック状態表示

各録音モードにより表記が変わります。

表示例	内容
L R	モノラルモードまたはステレオモードで録音された再生ファイルを再生時
1-2 -5	デュアル録音モードで録音された再生ファイルを再生時
1-2 3-4	4CH録音モードで録音された再生ファイルを再生時
1-2 INT / 1-2 EXT	オーバーダブ・セパレートモード時
1-4 INT / 1-4 EXT	オーバーダブ・ミックスモード時

メモ

ソロのときは、トラック名が反転表示(1-2)します。

⑩ ループ再生のIN点(始点)、OUT点(終点)の設定状況

ループ再生のIN点(始点) / OUT点(終点)の設定状況を表示します。IN点(始点)を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に🔊アイコンが表示されます。OUT点(終点)を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に🔊アイコンが表示されます。

⑪ 残量時間表示

現在のファイルの残量時間(時:分:秒)を表示します。

⑫ 再生速度の状態表示

再生速度の設定に応じて、次のアイコンを表示します。

アイコン	再生速度
SPEED	1倍
SPEED+	1.1~1.5倍
SPEED-	0.5~0.9倍
SPEED	再生スピードの変更ができないとき

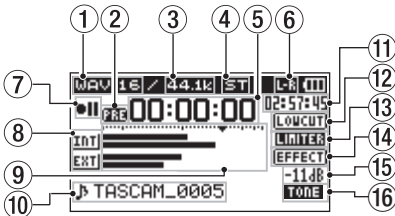
- ⑬ **エフェクターのオン／オフ状況表示**
エフェクターのオン／オフ状態をアイコン表示します。
[EFFECT] : 内蔵エフェクターオフ
[EFFECT] : 内蔵エフェクターオン
- ⑭ **ピーク値のデシベル (dB) 表示**
一定時間ごとに、その期間の再生レベルの最大値を、デシベル表示します。
- ⑮ **ファイル名表示**
再生中のファイル名、またはタグ情報を表示します。ID3タグ情報を持つMP3ファイルの場合は、ID3タグ情報が優先して表示されます。4CH録音モード、デュアル録音モード、オーバーダブ・セパレートモードで録音された複数ファイルの場合は、プロジェクト名を表示します。

メモ

ID3タグ情報とは、MP3ファイルに保存可能なタイトルやアーティスト名の情報です。

- ⑯ **再生位置表示**
現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

録音画面



- ① **録音フォーマット表示**
録音ファイルのフォーマットを表示します。
WAV16 / WAV24 / BWF16 / BWF24 / MP3 320k / MP3 256k / MP3 192k / MP3 128k / MP3 96k / MP3 64k / MP3 32k
- ② **プリレック機能またはオートレック機能の設定状態表示**
プリレック機能が **オン** のかつ録音待機中は、[PRE] アイコンが表示されます。オートレック機能が **オン** かつ録音中は、[AUTO] アイコンが表示されます。
- ③ **録音サンプリング周波数表示**
録音ファイルのサンプリング周波数を表示します。
44.1k/48k/96kHz
- ④ **録音チャンネル数表示**
録音ファイルのチャンネル数を表示します。
ST / MONO
- ⑤ **録音経過時間**
録音ファイルの経過時間 (時 : 分 : 秒) を表示します。

- ⑥ **内蔵ステレオマイクの左右設定表示**
内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合っていないときに、現在の左右設定状態を表示します。

アイコン	マイク角度	MIC設定
[L-R]	閉 (X-Y)	L-R
[R-L]	開 (A-B)	R-L

- ⑦ **レコーダー動作状態表示**
レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
●	録音待機中または録音一時停止中
●	録音中

- ⑧ **入力ソース表示**
入力しているソースをアイコン表示します。

表示例	内容
[INT]	内蔵マイクが入力ソースに設定
[EXT]	EXT MIC/LINE IN端子が入力ソースに設定
[-5]	デュアル録音時のデュアルレベルの設定値 (-6 ~ -12)
[1-2]	オーバーダブ・セパレートモード時、1/2チャンネルが再生ファイルとなっていることを表示します。
[1-4 INT]	オーバーダブ・ミックスモード時、再生ファイルと内蔵マイクがミックスされ入力ソースに設定
[1-4 EXT]	オーバーダブ・セパレートモード時、再生ファイルとEXT MIC/LINE IN端子がミックスされ入力ソースに設定

メモ

ソロのときは、トラック名が反転表示 ([1-2]) します。

- ⑨ **レベルメーター**
入力音のレベルを表示します。オーバーダブ・ミックスモード録音中は、入力音と再生音をミックスしたレベルを表示します。目盛りには、-12dBの位置に入力レベル調整時の目印となる ▼ マークがあります。
- ⑩ **ファイル名表示**
録音するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。4CH録音モード、デュアル録音モード、オーバーダブ・セパレートモードで録音された複数ファイルの場合は、プロジェクト名を表示します。
- ⑪ **録音残時間**
設定した最大ファイルサイズに対する残時間 (時 : 分 : 秒) を表示します。ただし、SDカードの残り時間の方が少ない場合はそちらを表示します。
- ⑫ **低域カットフィルターオン／オフ状態表示**
低域カットフィルターのオン／オフ状態を表示します。40Hz、80Hz または 120Hz 設定時にアイコンを反転表示します。

- [LOWCUT] : 低域カットフィルターオフ
- [LOWCUT] : 低域カットフィルターオン

⑬ 入力レベル制御機能状態表示

- OFF** : 入力レベル制御機能オフ
- PEAK** : ピーク検出機能オン
- AUTO** : 自動レベル調整機能オン
- LIMITER** : リミッター機能オン

⑭ エフェクターのオン/オフ状況表示

エフェクターのオン/オフ状態をアイコン表示します。

- EFFECT1** : 内蔵エフェクターオフ
- EFFECT2** : 内蔵エフェクターオン

⑮ ピーク値のデシベル (dB) 表示

入力レベルのピーク値をデシベル表示します。

⑯ スレートトーン機能の設定状態表示

スレートトーン機能のオン状態をアイコン表示します。

- 表示なし : スレートトーンオフ
- TONE** : スレートトーンオン

再生コントロール画面



① ループ再生の設定状態表示

ループ再生が有効なとき、♻️ アイコンが表示されます。

② 再生速度表示

再生速度が標準再生速度の何倍かで表示されます。VSA機能 (Variable Speed Audition: 再生ファイルの音程を保ったまま再生スピードを変えることができる機能) が有効であることを示す **再生スピード** が先頭に表示されます。

③ 使用ボタン表示

再生コントロール画面を表示中に使用するボタンと、その用途を表示します。

- MENU** : ループ再生のオン/オフを切り換えるのに使います。
- ENTER** : IN点 (始点)、OUT点 (終点) およびそれらのクリアに使います。

メモ

- この画面で**QUICK**ボタンを押したときには、他の画面と異なり、クイックメニュー画面には **出力音量補正** のみが表示され、出力音量補正機能のみが使用できます。
- この画面では、録音はできません。また、**◀◀** / **▶▶** ボタンはIN点 (始点) / OUT点 (終点) または先頭 / 末尾へスキップし、前または次のファイルへのスキップはできません。

④ ループ再生のIN点 (始点)、OUT点 (終点) の設定状況

ループ再生のIN点 (始点) / OUT点 (終点) の設定状況を表示します。

IN点 (始点) を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に **■** アイコンが表示されます。

OUT点 (終点) を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に **■** アイコンが表示されます。

⑤ 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

メニューの構成

MENUボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。メニュー項目は、以下の通りです。

メニュー項目	機能	参照ページ
録音設定	録音の設定をします。	→ 22ページ
再生設定	再生範囲、リピート再生、再生EQ、戻り再生機能の設定をします。	→ 42ページ → 45ページ → 47ページ → 48ページ
ファイル/フォルダー	カード内のファイル、フォルダーの操作をします。	→ 40ページ
スピーカー設定	内蔵スピーカーのオン/オフを設定します。	→ 19ページ
その他	その他画面を表示します。	

メニュー画面で **その他** を選択すると、**その他** 画面が表示されます。サブメニュー項目は、以下の通りです。

サブメニュー項目	機能	参照ページ
インフォメーション	ファイル情報、SDカード情報、システム情報を表示します。	→ 59ページ
チューナー	チューナーを使用します。	→ 57ページ
エフェクト	エフェクターの設定をします。	→ 54ページ
ファイル名設定	ファイル名の設定をします。	→ 62ページ
日時設定	日時、時刻の設定をします。	→ 17ページ
リモート設定	別売の専用フットスイッチ (TASCAM RC-3F) の設定、または別売のワイヤードリモコン (TASCAM RC-10) の設定を行います。	→ 64ページ
システム設定	各種設定を行います。	→ 60ページ

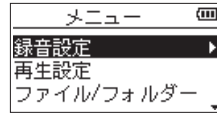
注意

- 録音待機中または録音中は、下記の画面と項目のみ表示されます。
録音設定画面の **低域カット** 項目および **オートレック** 設定の **モード** 項目と **開始レベル** 項目 (オートレック設定は表示のみ)
エフェクト画面の **リバース** 項目、**プリセット** 項目、**レベル** 項目、**対象** 項目
- 再生コントロール画面では、MENUボタンを押してもメニュー画面は表示されません。ループ再生機能がオン/オフされます。(→ 46ページ「指定した区間を繰り返し再生する(ループ再生)」)

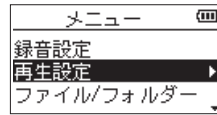
メニューを使う

再生範囲の設定を変更することを例に説明します。

- MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。

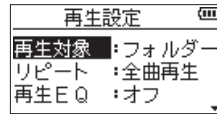


- +ボタンまたは-ボタンを使ってメニュー項目を選択(反転表示)し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押すと各種設定画面に移動します。



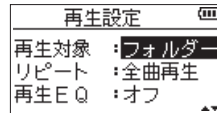
[再生設定 選択時]

- +ボタンまたは-ボタンを使って、設定する項目を選択(反転表示)します。



[再生対象 選択時]

- ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押すと、設定内容にカーソルが移動します(反転表示)。



- +ボタンまたは-ボタンを使って、設定を変更します。
- 同じメニュー内で別の項目を設定する場合は、◀◀ボタンを押します。
設定項目選択状態に戻りますので、+ボタンまたは-ボタンを使って設定したい項目を選択(反転表示)します。
- 必要に応じて、3.～6.を繰り返して、各項目を設定します。
- MENUボタンを押すと、メニュー画面(またはその他画面)に戻ります。◀/1 (HOME) [■] ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

操作の基本

各種設定画面の操作には、次の操作子を使用します。

MENUボタン

メニュー画面を呼び出します。

PB CONTボタン

再生コントロール画面を呼び出します。

0/1 (HOME) [■] ボタン

各設定画面を表示中に 0/1 (HOME) [■] ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。確認のポップアップメッセージに対して「いいえ」を選択するときにも使用します。

ENTER/MARKボタン

各設定項目の選択を確定する、または確認のポップアップメッセージに対して「はい」を選択するときを使用します。

▶▶ボタン

設定画面内のカーソル（反転表示部）を右に移動するときや、ファイル/フォルダー画面でフォルダーを開くときに使用します。

◀◀ボタン

設定画面内のカーソル（反転表示部）を左に移動するときや、ファイル/フォルダー画面でフォルダーを閉じるときに使用します。

+ボタン

各項目を画面上方向に移動して選択する、または設定値を高い値/大きい値に変更するときを使用します。

-ボタン

各項目を画面下方向に移動して選択する、または設定値を低い値/小さい値に変更するときを使用します。

QUICKボタン

クイックメニュー画面を呼び出します。

- 停止中：現在の再生ファイルの削除、分割、出力音量補正機能、ミックスダウン機能
- 再生中/再生コントロール画面：出力音量補正機能
- 録音待機中：入力レベル制御機能、マイクの左右入れ換え機能

ファイル/フォルダー画面および再生リスト画面を表示中にポップアップメニューを表示/非表示します。

ミキサー画面表示中に押すと、MSデコーダーを設定します。

REC MODEボタン

録音モード画面を呼び出します。

録音モード画面表示中に押すと、ホーム画面へ戻ります。

MIXERボタン

ミキサー画面を呼び出します。

ミキサー画面表示中に押すと、ホーム画面へ戻ります。

1/2 [SOLO] ボタン

1/2チャンネルの入力レベル設定状態を示すメーター表示を呼び出します。

デュアル/4CHモードで録音または再生するときに長押しすると、ソロ機能となります。

オーバーダブ（ミックス）録音モードのときに押すと、入力音のミュートをすることができます。

3/4 [SOLO] ボタン

3/4チャンネルの入力レベル設定状態を示すメーター表示を呼び出します。

デュアル/4CHモードで録音または再生するときに長押しすると、ソロ機能となります。

オーバーダブ（セパレート）録音モードのときに押すと、入力音と3/4チャンネルの再生音を切り換えることができます。

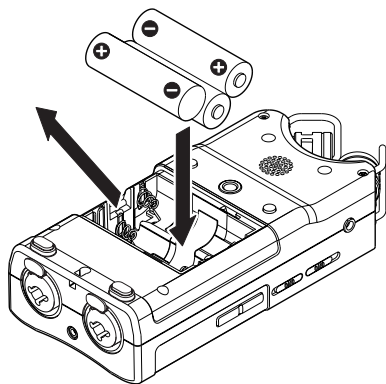
電源の準備

電源について

本機は、単3形電池3本、別売の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E) または付属のUSBケーブルを使って (USBバスパワー供給)、本機に電源を供給します。本機は、単3形アルカリ乾電池、および単3形ニッケル水素電池も使用することができます。

単3形電池で使用する

本機の裏面にある電池ケース蓋をスライドして取り外し、電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて、単3形電池を3本セットして、電池ケース蓋を取り付けます。



単3形電池で使用する時、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量を識別するために、電池の種類を設定してください。(→ 60ページ「電池の種類の設定」)

注意

- 単3形マンガン乾電池は、使用できません。
- 本機で単3形ニッケル水素電池を充電することはできません。市販の充電器をご使用ください。
- 付属のアルカリ乾電池は、動作確認用です。そのため寿命が短い場合があります。
- 一番下側の電池を入れる場合は、本体から出ているリボンを先に下に敷いてから入れてください。電池を取り出しづらくなる場合があります。

メモ

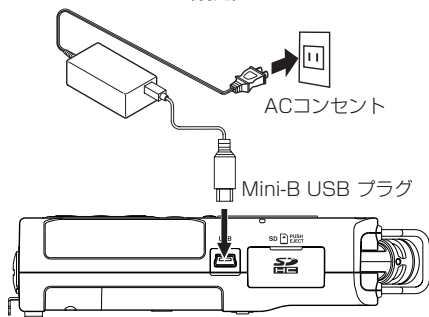
コンデンサーマイクへファントム電源を供給した場合は、電力を多く消費します。単3形電池 (ニッケル水素電池またはアルカリ乾電池) で供給しているときに、コンデンサーマイクを使用すると稼働時間が極端に短くなります。

長時間稼働させたい場合は、付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E)、または付属のUSBケーブルを使って (USBバスパワー供給)、本機に電源を供給してご使用ください。

ACアダプターで使用する (別売)

図のように、別売の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E) と本機のUSB端子を付属のUSBケーブルで接続します。

TASCAM PS-P520E (別売)



メモ

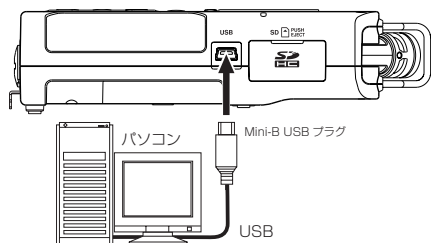
電池とACアダプターの両方をセットした場合は、ACアダプターから電源が供給されます。

注意

- 必ず別売の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E) をご使用ください。それ以外のものを使用すると故障、火災、感電の原因となります。
- 本体をACアダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときには、ACアダプターを本体から離してお使いください。

USBバスパワーで使用する

図のように、パソコンと本機を付属のUSBケーブルを使って接続します。



電源がオンのときにUSB接続する、またはUSB接続後に電源をオンにすると、USBバスパワーで供給するか、またはパソコンとUSB接続するかを選択する **USBモード** 画面が表示されます。

+ボタンまたは-ボタンを使って **電源供給** を選択（反転表示）し、**ENTER/MARK**ボタンを押すと電源がUSB端子から供給され、ホーム画面が表示されます。



メモ

- 電池をセットした状態でUSB接続した場合は、USBから電源が供給されます（USBバスパワー優先）。
- ACアダプターでの使用もUSBケーブルを使用した接続のため、同じ方法になります。

電源をオンにする／オフにする

注意

- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）使用時、およびパソコンとのUSBバスパワー接続で供給しているときは、電源をオフにするとスタンバイ状態になります。
- 本機の電源のオン／オフは、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。
- 電源のオン／オフ時にヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、スピーカーや聴覚を損傷する恐れがあります。

電源をオンにする

電源がオフ時に、**HOME**（**HOME**）**[■]** ボタンを押し続け、**TASCAM DR-40**（起動画面）が表示されたら離します。本機が起動してホーム画面が表示されます。



[起動画面]



[ホーム画面]

注意

お買い上げ後、最初に電源を入れたときは、以下の初期設定を行う必要があります。

- 1) ディスプレーに表示される言語を設定するための画面が表示されます。



+ボタンまたは-ボタンを押してカーソル（反転表示部）を移動し、ディスプレイに表示される言語を選択します。

選択肢

English	: 英語で表示
日本語	: 日本語で表示
Français	: フランス語で表示
Español	: スペイン語で表示
Deutsch	: ドイツ語で表示
Italiano	: イタリア語で表示
Русский	: ロシア語で表示
中文	: 中国語で表示

選択が完了したら、**ENTER/MARK**ボタンを押して確定します。

ディスプレイに表示される言語の設定は、**システム設定** 画面の **言語** 項目でも再設定できます。（→ 60ページ「言語を選択する」）

2) 内蔵時計を設定するための画面が表示されます。



◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して、カーソル（反転表示部）を移動し、+ ボタンまたは - ボタンを使って値を変更します。

設定が完了したら、▶ ボタンを押して確定します。起動画面が表示され、起動が終了するとホーム画面が表示されます。

日時を設定せずに ▶ ボタンを押して起動させ、あとから日時を設定することもできます。（→ 17ページ「日時を設定する」）

電源をオフにする

電源オン時に、**HOME** [■] ボタンを長押しし、**LINEAR PCM RECORDER** と表示されたら離します。シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。



注意

電源をオフにするときは、必ず **HOME** [■] ボタンで行ってください。

電源がオンのときに電池を外したり、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）で使用しているときに電源コードを抜いたり、USBバスパワーで使用しているときにUSBケーブルを抜くと録音データや設定などが全て失われます。なお、失われたデータや設定は、復活することができません。

リジューム機能

本機は、リジューム機能を搭載しており、電源をオンにしたときに、前回電源をオフにしたときの位置（時間）にリケートされます。

電源投入後、再生ボタンを押すと、電源をオフにした時点のファイルの再生位置（時間）から再生することが可能です。

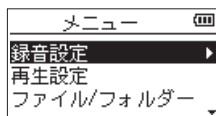
メモ

この内容は、SDカードに記録されているため、SDカードを入れ換える、またはフォーマットした場合にはリジュームできません。

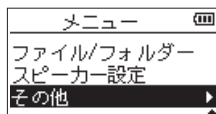
日時を設定する

本機は、本体内の時計をもとに、録音したファイルに日時を記録します。

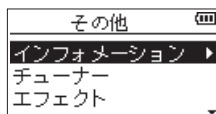
1. **MENU** ボタンを押して、**メニュー** 画面を表示します。



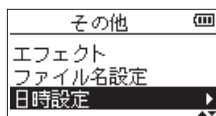
2. + ボタンまたは - ボタンを使って **その他** メニュー項目を選択（反転表示）し、**ENTER/MARK** ボタンまたは ▶▶ ボタンを押します。



その他 画面が表示されます。



3. + ボタンまたは - ボタンを使って **日時設定** メニュー項目を選択（反転表示）し、**ENTER/MARK** ボタンまたは ▶▶ ボタンを押します。



日時設定 画面が表示されます。



4. ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して、カーソル（反転表示部）を移動し、+ ボタンまたは - ボタンを使って値を変更します。

5. **ENTER/MARK** ボタンを押すと確定し、**その他** 画面に戻ります。

メモ

ここで設定した日時をファイル名に付けることができます。（→ 62ページ「ファイル名の形式を設定する」）

注意

日時の設定は、電池のない状態または別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）の接続がない状態、USBバスパワーで動作していない状態では、数分しか保持しません。

電池でお使いの場合は、完全に電池がなくなる前に電池交換することをお勧めします。

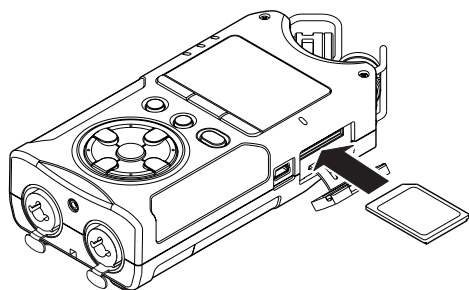
SDカードを挿入する／取り出す

挿入する

メモ

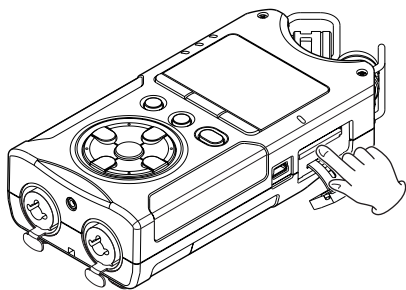
本機をお買い上げ時、SDカードスロットにSDカードが挿入されています。このSDカードをそのまま使って録音／再生を行う場合は、改めて挿入し直す必要はありません。

1. 右サイドパネルのSDカードスロットのカバーを開きます。
2. SDカードを図の方向にカチッと音がするまで差し込みます。



取り出す

1. SDカードスロットのカバーを開きます。
2. SDカードを軽く押し込んでから放すと手前に出てきます。

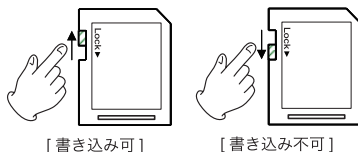


注意

- パソコンとUSB接続中、本機からSDカードを取り外さないでください。
- 使用できるSDカードは、SD/SDHC/SDXC規格に対応したカードです。
- TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) には、当社で動作確認済みのSDカードのリストが掲載されています。

SDカードのライトプロテクトについて

SDカードには、プロテクト（書き込み防止）スイッチがあります。

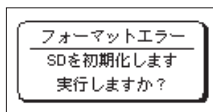


プロテクトスイッチを [LOCK] の方向へスライドすると、ファイルの記録や編集ができなくなります。録音や削除などを行う場合は、プロテクト（書き込み防止）スイッチを解除してください。

SDカードを使えるようにする

本機でSDカードを使えるようにするために、本機で初期化する必要があります。

1. SDカードが挿入されていることを確認し、電源をオンにします。
2. 新しいカード、または本機以外で初期化されたカードを挿入したとき、以下のようなポップアップメッセージが表示されます。



3. ENTER/MARKボタンを押すと、初期化を開始します。

注意

初期化を行うと、SDカード上のデータは全て消去されます。

4. 初期化が終了するとホーム画面に戻ります。また、本機ではいつでも初期化を行うことができます。

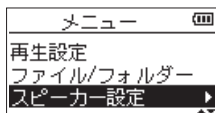
注意

SDカードの初期化は、別売の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E) を使用するか、パソコンとのUSBバスパワー接続状態で供給しているときに行うか、電池の残量が十分な状態で行ってください。

内蔵スピーカーで再生する

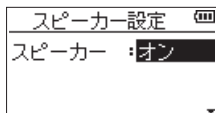
本機の内蔵スピーカーで再生音を聴く場合は、**スピーカー設定** 画面の **スピーカー** 項目をオンにしてください。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **スピーカー設定** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。



スピーカー設定画面が表示されます。

3. +ボタンまたは-ボタンを使って **オン** に設定します。



4. 設定が終了したら、**HOME** (■) ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

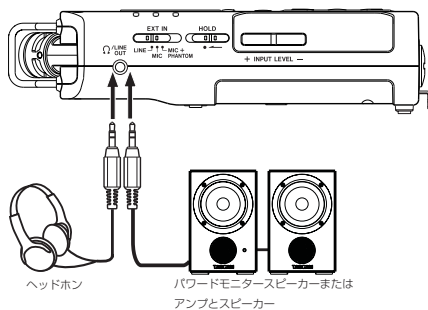
メモ

録音待機中または録音中のとき、またはヘッドホン/モニターシステムを接続すると、**スピーカー** 項目が **オン** に設定されていても、スピーカーから音は出力されません。

モニター用機器を接続する

ヘッドホンで聴く場合は、**Ω** /LINE OUT端子にヘッドホンを接続してください。

外部モニターシステム（パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー）で聴く場合は、**Ω** /LINE OUT端子に外部モニターシステムを接続してください。



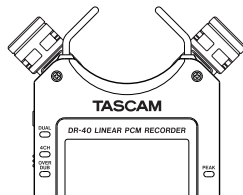
内蔵ステレオマイクについて

本機のステレオ内蔵マイクは可動式になっており、マイクの角度を変えることができるようになっています。録音のソースと状況またはお好みに合わせて、広がりのあるステレオ録音または位相差を抑えたクリアなステレオ録音を、内蔵マイクを開閉することで選ぶことができます。

広がりのあるステレオ録音設定をする (A-Bポジション)

マイクを左右に開きます (A-Bポジション)。左右に大きく広がった、ステレオ感あふれる録音が可能です。

内蔵ステレオマイクを使用中にマイクを開閉して、内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合わなくなったときに、マイクの左右設定を切り換えるかどうかのポップアップメッセージが表示されます。(→ 21ページ「マイク位置検出について」)



注意

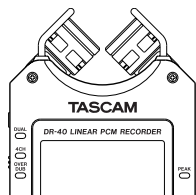
内蔵ステレオマイクの左右設定は、**L-R** に設定してください。

内蔵ステレオマイク使用時に、マイクを開いたときに左右設定が **L-R** になっていないときにはホーム画面に **L** アイコンが表示されます。(→ 20ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」)

クリアなステレオ録音設定をする (X-Yポジション)

マイクを閉じた状態にします (X-Yポジション)。この設定では、位相差を抑えたクリアなステレオ感のある録音が可能です。

内蔵ステレオマイクを使用中にマイクを開閉して、内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合わなくなったときに、マイクの左右設定を切り換えるかどうかのポップアップメッセージが表示されます。(→ 21ページ「マイク位置検出について」)



注意

内蔵ステレオマイクの左右設定は、R-L に設定してください。

内蔵ステレオマイク使用時に、マイクを閉じたときに左右設定が R-L になっていないときにはホーム画面に **L-R** アイコンが表示されます。(→ 20ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」)

内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える

マイクの角度設定によって、左マイク、右マイクの入れ換えを行います。

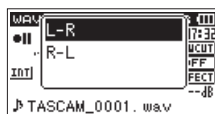
左右のマイクが開いているときには左のマイクが左チャンネル、右のマイクが右チャンネルとなる設定 (A-Bポジション時: L-R)。マイクが閉じているときには左のマイクが右チャンネル、右のマイクが左チャンネルとなる設定 (X-Yポジション時: R-L) にします。

内蔵ステレオマイク使用時に、この設定になっていない場合は、現在のマイク設定がホーム画面にアイコンで警告表示されます。

1. RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。
RECインジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。
2. QUICKボタンを押します。
クイックメニュー画面が表示されます。



3. +ボタンまたは-ボタンを使って、**マイク左右切替** が選択 (反転表示) されている状態で、ENTER/MARKボタンを押します。
LRスワップ設定ポップアップ画面が表示されます。



4. +ボタンまたは-ボタンを使って、マイクの開閉状況に応じて L-R もしくは R-L を選択 (反転表示) します。
5. ENTER/MARKボタンを押すと、選択が確定し、ホーム画面に戻ります。

マイク位置検出について

マイクを開いたり閉じたりして、内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合わなくなったときに、以下のポップアップメッセージが表示されます。



ENTER/MARKボタンを押すと、選択が確定し、ホーム画面に戻ります。

φ/I (HOME) [■] ボタンを押すと、設定を変更しません。

メモ

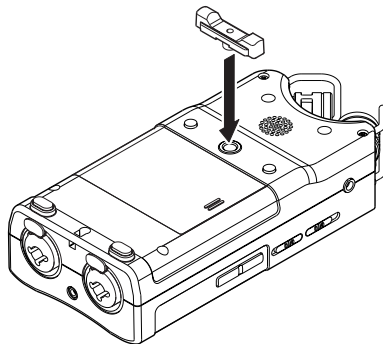
この画面は、右側のマイクを閉じたときに自動的に表示されます。左側のマイクだけを閉じた場合は、表示されません。

マイクの角度設定を変えてポップアップメッセージが表示されている場合は、ENTER/MARKボタンを押してL-R設定を変更するか、φ/I (HOME) [■] ボタンを押して設定を変更しないか、マイクの角度をもとに戻してポップアップメッセージを閉じるまでは、録音を開始することができません。

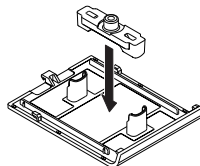
録音中は、マイクの角度設定を変えても、このポップアップ画面は出ません。RECORD [●] ボタンを押して録音待機状態にしてから、QUICKボタンを押して表示されるクイックメニュー画面のマイク左右切替項目で切り換えを行ってください。(→ 20ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」)

チルトフットを取り付ける

内蔵マイクで録音を行う際、電池ケース蓋側を下側にして置くとマイク側が低くなってしまいますため、付属のチルトフットを三脚取り付け用穴に取り付けて、マイク側が低くならない状態にすることができます。下記のように取り付けます。



使用しないときは、電池ケース蓋の内側に出ている2つの突起の間に挟むように収納し、携帯することができます。



本機は、内蔵ステレオマイクを使った録音の他に、外部マイクあるいは外部オーディオ機器（CDプレーヤーなど）からの信号を録音することができます。録音オーディオファイル形式は、MP3（32k～320kbps、44.1k/48kHz）、WAV / BWF（44.1k/48k/96kHz、16/24ビット）から設定可能です。

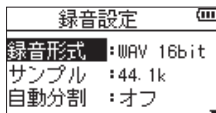
BWFフォーマットに対応したWAVファイルは、録音中に付けたマークをBWF対応のソフトなどで使用することができます。

また本機では、オーディオファイルを再生しながら入力信号をミックスして別ファイルとして、あるいはミックスせずに別のファイルに録音すること（オーバーダビング機能）や、異なるレベルで2系統の録音を同時に行うこと（デュアル録音）や、外部マイクを使用して内蔵マイクと同時に3チャンネルまたは4チャンネルの録音をすることなど、5つの録音モードがあります。

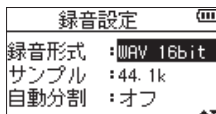
ファイル形式／サンプリング周波数を設定する（録音設定）

録音を実行する前に、録音オーディオのファイル形式を設定します。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **録音設定** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。



3. +ボタンまたは-ボタンを使って **録音形式** 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。



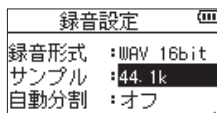
ここでファイル形式を設定します。

+ボタンまたは-ボタンを使って、以下の中から設定します。

選択肢：BWF 24bit、BWF 16bit、WAV 16bit（初期値）、WAV 24bit、MP3 32k bps、MP3 64k bps、MP3 96k bps、MP3 128k bps、MP3 192k bps、MP3 256k bps、MP3 320k bps

メモ

- BWFは放送局用のフォーマットで、音質はWAVと同等です。ファイルの拡張子は「.wav」で、WAVファイルの拡張子と同じです。本誌では、BWFに対応したWAVファイルを「BWF」、BWFに対応していないWAVを「WAV」と表記します。
 - WAV / BWFの方がMP3よりも高音質で録音ができます。
 - MP3の方がWAV / BWFよりも長時間録音ができます。
 - MP3の場合は、値が大きいほど高音質で録音ができます。
4. ◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態にします。
 5. +ボタンまたは-ボタンを使って **サンプル** 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。



ここでサンプリング周波数を設定します。

メモ

ファイル形式がMP3のときは、96k は選択できません。

6. 設定が終了したら、◀/1 (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

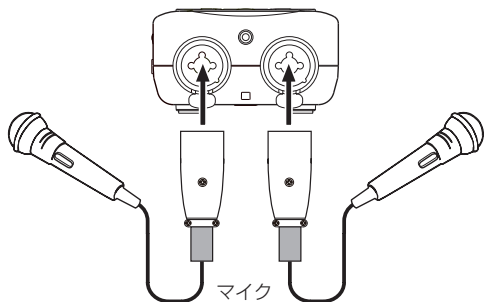
入力の設定をする

内蔵ステレオマイクで録音する

内蔵ステレオマイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。

外部マイクで録音する（EXT MIC IN）

外部マイクを本機のEXT MIC/LINE IN端子に接続します。外部マイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。

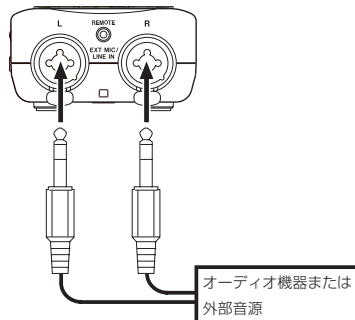


メモ

外部マイク使用時は、内蔵ステレオマイクおよびマイクの左右設定は無効となります。

外部機器から録音する (LINE IN)

ステレオプラグケーブルを使用して、外部オーディオ機器の出力と接続します。



注意

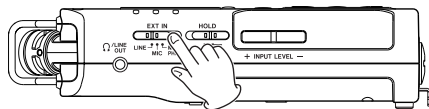
- 本機の入力レベルを調節しても、入力された音が歪んでいる場合は、外部機器の再生音量を小さくしてください。
- 外部機器の出力レベルを調節できないライン出力を接続した場合は、音量が大きい音源などではレベルオーバーとなり、調節できない場合があります。その場合には、レベル調節可能なヘッドホン端子などを接続してください。

メモ

外部マイク使用時は、内蔵ステレオマイクおよびマイクの左右設定は無効となります。

外部入力を選択をする

入力ソースとして外部入力選ばれているとき、接続されている外部機器に合わせて左サイドパネルのEXT INスイッチを選択します。



LINE :

外部機器のライン出力端子を本機器のアナログ入力に接続した場合は、LINEに設定します。

MIC :

マイクを本機に接続した場合は、MICに設定します。

MIC+PHANTOM :

ファントム電源 (+24V / +48V) を必要とするコンデンサーマイクを本機に接続した場合は、MIC+PHANTOMに設定します。

注意

この設定に合わせて入力レベルの設定範囲が切り換わります。そのため切り換えたときに入力レベルが大きく変化する場合がありますので、電源がオフの状態または出力レベルを絞った状態で切り換えてください。

ファントム電源について

左サイドパネルのEXT INスイッチをMIC+PHANTOMにすると、ファントム電源 (+24V / +48V) がオンになりマイクに供給されます。

注意

- EXT MIC/LINE IN端子にライン機器を接続する場合は、ファントム電源がオフになっていることを確認してください。ファントム電源が供給されている状態でライン機器を接続すると、ライン機器および本機の故障の原因になります。
- ファントム電源スイッチをオンにした状態で、EXT MIC/LINE IN端子にマイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、ファントム電源スイッチをオンにしてください。ファントム電源を必要としないダイナミックマイクなどを接続しているときにファントム電源をオンにすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクとダイナミックマイクを合わせて使用する場合は、必ずバランスタイプのダイナミックマイクをご使用ください。アンバランスタイプのダイナミックマイクを混用することはできません。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- USBバスパワーで使用する場合、使用されるパソコンによってはファントム電源が供給できない場合があります。その場合は、専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E) をご使用ください。
- コンデンサーマイクによっては、+24Vに設定されたファントム電源では動作しないものもあります。
- ファントム電源使用中は、USB端子に接続されている電源ケーブルの抜き差しを行わないでください。本体に電池を挿入している状態でも電源が切れる可能性があり、録音中のデータが破損または消失してしまうことがあります。

入力レベルを調節する

録音した音もしくは信号が、入力が大きすぎて歪む、または小さすぎてノイズに埋もれてしまうことを避けるために、録音する前に入力レベルを調節する必要があります。手動で調節する機能の他にピーク検出機能、自動レベル調整機能、リミッター機能の3つの入力レベル制御機能もありますので、お好みに応じてお使いください。

ヒント

入力レベルの調節だけでなく、マイクと音源との距離や向きを調節してみてください。また、マイクの向きや音源との距離によって音質が変わります。

手動で入力レベルを調節する

入力のレベルを調節します。

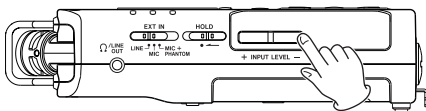
注意

入力レベル制御機能の自動レベル調整機能を選択（録音画面の経過時間表示の右側に **AUTO** が表示）しているときは、手動での調節はできません。手動で入力レベルを調節するためには、入力レベル制御設定画面で **オフ** または他のモードを選択してください。（→ 25ページ「入力レベル制御機能を使う」）

1. **RECORD** [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。RECインジケータが点滅し、録音画面が表示されます。



2. 左サイドパネルの **INPUT LEVEL** (+ / -) ボタンを使って、入力レベルを調節します。



左サイドパネルの **INPUT LEVEL** (+ / -) ボタンを押すと、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレイの下部にプルアップ表示されます。



入力音が大きすぎる場合は、ディスプレイの右側の **PEAK**インジケータが赤く点灯します。レベルメーターには、-12dBの位置に ▼ の目印が付いています。この目印を中心にレベルが変化し、かつ **PEAK**インジケータが赤く点灯しないように入力レベルを設定してください。

メモ

- 左サイドパネルの **INPUT LEVEL** (+ / -) ボタンを押したときに表示される入力レベル設定プルアップ画面は、入力ソースに対応した表示を行います。

表示は、以下の4種類となります。

- 内蔵マイク LVL : 内蔵マイクレベル
- EXT IN LVL : EXT INレベル
- EXT Lch LVL : EXT IN Lチャンネルレベル
- EXT Rch LVL : EXT IN Rチャンネルレベル

- **録音モード** 画面中の入力選択（入力 または EXT IN）が **EXT 独立** のときに、EXT Lch LVL と EXT Rch LVL を切り換えるには、以下のボタンを使用します。

録音モード	使用ボタン
ステレオ	1/2ボタン
デュアル	
オーバーダブ・セパレート	
4CH	3/4ボタン
オーバーダブ・ミックス	

- 録音待機状態を解除するには、**HOME** [■] ボタンを押します。

- 録音待機中や録音中は、**スピーカー設定** 画面の **スピーカー** 項目の設定が **オン** の場合でもスピーカーから音は出ません。

モニター音を聞きながら入力レベル調節や録音を行う場合は、ヘッドホンを本機の **LINE OUT** 端子に接続してください。

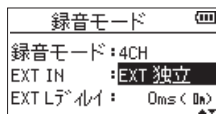
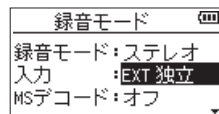
モニター音は、ホーム画面表示中に + ボタンまたは - ボタンで調節できます。モニター音量を変えても録音される音には、影響ありません。

EXT IN入力レベルのL / R個別設定機能

EXT INの入力レベルをLチャンネルとRチャンネルで個別に設定することができます。

異なるマイクを2本使用する場合や音量差が大きい場合などに使用します。

1. **REC MODE** ボタンを押して、**録音モード** 画面を表示します。
2. + ボタンまたは - ボタンを使って **入力** (4CH 録音モード時は EXT IN) 項目を選択し（反転表示）、**ENTER/MARK** ボタンまたは **▶▶** ボタンを押します。
3. + ボタンまたは - ボタンを使って、入力ソースを **EXT 独立** に設定します。



4. **HOME** [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。
5. **RECORD** [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。

6. 左サイドパネルのINPUT LEVEL (+ / -) ボタンを押すと、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレイの下部からブルアップ表示されます。



7. 入力レベル設定対象 (L / R) の切り換えには以下のボタンを使用します。

録音モード	使用ボタン
ステレオ	1/2ボタン
デュアル	
オーバーダブ・セパレート	
4CH	3/4ボタン
オーバーダブ・ミックス	

メモ

- 録音モード 画面中の入力選択 (入力 または EXT IN) を EXT に設定すると、EXT IN入力レベルはL / Rで共通となります。
- エフェクト 画面の 対象 項目を EXT IN または内蔵マイクに設定し、入力音にエフェクトを掛ける場合、エフェクト音にはLチャンネルとRチャンネルの成分が含まれるため、録音結果に反対側のチャンネルの音が混ざります。

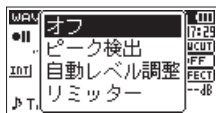
入力レベル制御機能を使う

マイク入力時の入力レベル制御機能を設定します。

- RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。RECインジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。
- QUICKボタンを押します。クイックメニュー画面が表示されます。



- +ボタンまたは-ボタンを使って 入力レベル制御 を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンを押します。入力レベル制御設定画面が表示されます。



選択肢: オフ (初期値)、ピーク検出、自動レベル調整、リミッター

- +ボタンまたは-ボタンを使って機能を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンを押すと機能が有効になり、録音画面に戻ります。選択されている機能は、録音画面にアイコンで表示されます。

ピーク検出

入力音が大きすぎたときに、入力レベルを適度なレベルまで自動で下げる機能です。これにより難しい入力レベルの設定を簡単に行うことができます。入力レベルを上げたいときは、手動で行うことができます。

ヒント

たとえば、バンド演奏を録音するとき、実際に録音する前にピーク検出のリハーサルを行うことができます。録音待機状態でピーク検出モードを選択し、入力レベルを最大にします。ここでリハーサル演奏を行うと、入力音に応じて適度なレベルまで入力レベルが下げられ、演奏に合わせた入力レベルが設定されます。録音を開始する前にオフすれば設定された入力レベルで録音することができます。また、そのまま録音を行えば録音中も入力音に応じて入力レベルを自動調節できます。ピーク検出モードで入力レベルを自動設定した後、リミッターモードで録音することもできます。

自動レベル調整

入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように入力レベルを自動で調節するため、会議録音などに適しています。このモードでは、手動で入力レベルを変更することはできません。

リミッター

突発的な過大入力による歪みを防ぐ機能です。音量変化が激しいライブ録音などに適しています。このモードでは、録音中でも手動で入力レベルを変更することができます。

注意

入力音が大きすぎるとリミッター機能をオンにしても歪んでしまう場合があります。そのときは、手動で入力レベル (INPUT LEVEL) を下げるか、音源から本体を離してください。LINE入力時は、入力レベル制御機能は使用できません。

録音モードについて

本機には、5つの録音モードがあります。

録音モード 画面の 録音モード 項目にて、録音モードを設定します。

各録音モードにて設定する項目が異なります。

モノラルモード

モノラル録音のモードです。

ステレオモード (初期値)

ステレオ録音のモードです。

デュアルモード

1つの入力ソースで2種類の入力レベル設定 (入力レベル制御設定画面)のファイルを作成するモードです。録音ファイルは、モノx2またはステレオx2となります。

4CHモード

内蔵マイクと外部入力を使用し同時に2系統の入力を2ファイルに録音するモードです。

録音ファイルは、ステレオx2となります。

オーバーダブモード

再生ファイルに新たな音を加えて録音するモードです。

再生音と入力音をミックスして新しいファイルを作成するミックス モードと入力音のみの録音ファイルを作成するセパレート モードがあります。

2つのモードの選択は、この オーバーダブ モードの中のダブモード 設定の中で行います。

録音する (モノラル/ステレオ録音)

録音の設定をする

- REC MODEボタンを押して、録音モード 画面を表示します。
- +ボタンまたは-ボタンを使って、録音モード 項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
- +ボタンまたは-ボタンを使って、モノラル またはステレオ に設定します。(初期値：ステレオ)

録音モード	録音モード
録音モード:モノラル 入力 :内蔵マイク	録音モード:ステレオ 入力 :内蔵ステレオ MSデコード:---

[モノラル録音時]

[ステレオ録音時]

- ◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
- +ボタンまたは-ボタンを使って 入力 項目を選択 (反転表示) し、ENTRY/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
- +ボタンまたは-ボタンを使って、入力ソースを設定します。

録音モード	入力 (選択肢)	内容
モノラル	内蔵モノラル (初期値)	内蔵マイクのL/Rをミックスしてモノラルで録音します
	EHT IN L	外部入力Lをモノラル録音します
ステレオ	内蔵ステレオ (初期値)	内蔵マイクでステレオ録音をします
	EHT べア	外部入力でステレオ録音をします
	EHT 独立	独立して入力レベルが設定できる外部入力2チャンネルを追加する

- ◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
- 録音モード 項目をステレオ に設定した場合は、MSマイクの設定を行います。
MSマイクを使用する場合は、+ボタンまたは-ボタンを使って MSデコード 項目を選択 (反転表示) し、ENTRY/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
MSデコード 項目を+ボタンまたは-ボタンを使ってオンにします。
- 設定が終了したら、⓪/1 (HOME)[■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

ファイルの保存先を設定する

録音したファイルの保存するフォルダーを設定します。録音したファイルは、カレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）に録音されます。詳細は、41ページ「フォルダー操作」の **フォルダー選択** ポップアップメニュー項目を参照してください。特に指定しない場合は、“**MUSIC**” フォルダーの下にファイルが作成されます。

録音を開始する

1. RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。



[モノラル録音時]



[ステレオ録音時]

録音画面の上側には、録音オーディオファイル形式およびサンプリング周波数、左側に入力ソース、下側には録音ファイル名が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。

2. 再度RECORD [●] ボタンを押します。通常の録音が始まります。



[モノラル録音時]



[ステレオ録音時]

録音が始まるとRECインジケーターが点灯し、ディスプレイには、録音経過時間および録音残時間が表示されます。

3. 録音を終了するには、**HOME** [■] ボタンを押します。

録音を一時停止するには、RECORD [●] ボタンを押します。再度RECORD [●] ボタンを押すと、同じファイルに続きが録音されます。

一時停止後に **HOME** [■] ボタンを押すと、一時停止までを録音したオーディオファイルが作成されます。

注意

本体をACアダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときは、ACアダプターを本体から離してお使いください。

モノラル/ステレオ録音時のファイル名

TASCAM_0001.WAV

① ②

- ①：ファイル名設定画面の **ワード** 項目の設定による
- ②：録音ファイルの基本番号

異なる入力レベルで同時に2系統の録音をする（デュアル録音）

本機では、異なる入力レベルで同時に2系統の録音（デュアル録音）を行うことができます。たとえば、マイク録音を行う際に、一方（メイン録音）はできるだけ入力レベルを大きく設定し、もう一方（バックアップ録音）は音が歪まないようにメイン録音より少し低めに入力レベルを設定し、同時に2系統の録音を行うことができます。

メイン録音、バックアップ録音は、それぞれ録音ファイルが保存されます。

入力レベルはメイン録音に対する設定となります（22ページ「入力の設定をする」、24ページ「入力レベルを調節する」）。

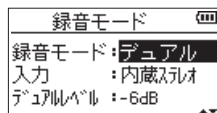
バックアップ録音の入力レベルは、メイン録音の入力レベルを基準として設定されますので、メイン録音の入力レベルを先に設定し、その後バックアップ録音の **デュアルレベル** 項目を設定してください。

メモ

このモードではエフェクトを掛けた音を録音することはできません。モニター音のみエフェクトを掛けることができます。

デュアル録音の設定をする

1. REC MODEボタンを押して、録音モード画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って、録音モード項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って、デュアルに設定します。



4. ◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
5. +ボタンまたは-ボタンを使って **入力** 項目を選択（反転表示）し、ENTRY/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
6. +ボタンまたは-ボタンを使って、入力ソースを設定します。

入力(選択肢)	内容
内蔵ステレオ(初期値)	内蔵マイクでステレオ録音する
内蔵モノラル	内蔵マイクのL/Rをミックスしてモノラル録音する
ENT IN L	外部マイクまたは外部機器からモノラル録音する
ENT ペア	外部マイクまたは外部機器からステレオ録音する
ENT 独立	独立して入力レベルが設定できる外部入力2チャンネルを追加する

7. ◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
8. + ボタンまたは- ボタンを使って **デュアルレベル** 項目を選択（反転表示）し、**ENTRY/MARK** ボタンまたは ▶▶ ボタンを押します。
9. + ボタンまたは- ボタンを使って、バックアップ録音のデュアルレベルを設定します。
設定値：-6dB（初期値）～-12dB
10. ◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
11. + ボタンまたは- ボタンを使って **レベル制御** 項目を選択（反転表示）し、**ENTRY/MARK** ボタンまたは ▶▶ ボタンを押します。
12. + ボタンまたは- ボタンを使って、バックアップ録音の入力レベル制御機能を設定します。

レベル制御 (選択肢)	内容
オフ（初期値）	入力レベル制御を行いません
ピーク検出	入力音が大きすぎたときに、入力レベルを適度なレベルまで自動で下げる機能です。これにより難しい入力レベルの設定を簡単に行うことができます。
自動レベル	入力レベルが小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように入力レベルを自動で調整するため、会議録音などに適しています。
リミッター	突発的な過大入力による歪みを防ぐ機能です。音量変化が激しいライブ録音などに適しています。

13. ◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
14. MSマイクを使用する場合は、+ ボタンまたは- ボタンを使って **MSデコード** 項目を選択（反転表示）し、**ENTRY/MARK** ボタンまたは ▶▶ ボタンを押します。**MSデコード** 項目を+ ボタンまたは- ボタンを使って **オン** にします。（初期値：オフ）
15. 設定が終了したら、**o/1 (HOME)** [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

デュアル録音を開始する

1. **RECORD** [●] ボタンを押すと、デュアル録音が始まります。
デュアル録音時は、以下のような録音画面表示になります。



録音画面のレベルメーターは、上段がメイン録音、下段がバックアップ録音の入力レベルを表示します。

デュアル録音時のファイル名

デュアル録音を行うと、2つのファイルが同時にできます。バックアップ録音のファイル名は、メイン録音のファイル名に **DH#** が追加された名前になります。**DH#** は、設定した **デュアルレベル** 項目によって変わります。

TASCAM_0002S12.WAV

① ② ③ ④

TASCAM_0002S34D12.WAV

① ② ③ ④ ⑤

- ①：ファイル名設定 画面の **ワード** 項目の設定による
- ②：録音ファイルの基本番号
- ③：5 → ソースファイル
- ④：アサインチャンネル
(12 → 1/2チャンネル、34 → 3/4チャンネル)
- ⑤：デュアルレベルの設定値
(例：-6dBでは **D06**、-10dBでは **D10**)

注意

- 入力レベルが 24 以下の場合、デュアル録音の効果が正しく得られない場合があります。
- **レベル制御** 項目が **ピーク検出** または **自動レベル** 時には、**デュアルレベル** 項目は変更できません。

3チャンネルまたは4チャンネルで録音する

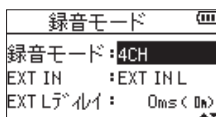
内蔵マイクと外部マイクまたは外部機器を接続して、3チャンネルまたは4チャンネルの録音を行うことができます。

録音ファイルは、2つのステレオファイル(1/2チャンネル、3/4チャンネル)として保存されます。

音源から内蔵マイク、音源からEXT IN Lチャンネル、音源からEXT IN Rチャンネルの各距離に差がある場合、内蔵マイク位置を基準にEXT IN LチャンネルとEXT IN Rチャンネルのディレイ時間を設定し、時間差を吸収することができます。

3チャンネルまたは4チャンネル録音を設定する

- REC MODEボタンを押して、録音モード画面を表示します。
- +ボタンまたは-ボタンを使って、録音モード項目を選択し(反転表示)し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
- +ボタンまたは-ボタンを使って4CHに設定します。



- ◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
- +ボタンまたは-ボタンを使って、追加する外部入力を設定します。

EXT IN (選択肢)	内容
EXT IN L (初期値)	外部入力 (L) の1チャンネルを追加する
EXT 独立	独立して入力レベルが設定できる外部入力2チャンネルを追加する
EXT ペア	外部入力のステレオ2チャンネルを追加する

メモ

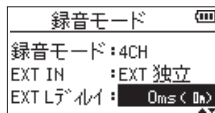
- EXT IN項目がEXT IN Lに設定されている場合、EXT IN Lは2つのステレオファイルが作成され、EXT IN Rチャンネルには無音が記録されます。
- EXT IN項目がEXT IN Lに設定されている場合、EXT IN Lのモニター状態でEXT IN Lチャンネルをセンターに定位させたいときは、録音または録音待機状態でMIXERボタンを押して3chのPANをC (Center) に設定してください。

注意

EXT IN項目がEXT IN Lに設定されている場合は、録音時にエフェクター機能は動作しません。

- ◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。

- +ボタンまたは-ボタンを使ってEXT Lディレイ項目を選択(反転表示)し、ENTRY/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。



- +ボタンまたは-ボタンを使って、EXT Lチャンネルのディレイ時間を設定します。
設定値: -150ms (51m) ~ 0ms (0m) (初期値) ~ +150ms (51m)
- ◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
- +ボタンまたは-ボタンを使ってEXT Rディレイ項目を選択(反転表示)し、ENTRY/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
- +ボタンまたは-ボタンを使って、EXT Rチャンネルのディレイ時間を設定します。
- ◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
- MSマイクを使用する場合は、+ボタンまたは-ボタンを使ってMSデコード項目を選択(反転表示)し、ENTRY/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。MSデコード項目を+ボタンまたは-ボタンを使ってオンにします。
- 設定が終了したら、○/1 (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

3チャンネルまたは4チャンネル録音を開始する

RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。



メモ

録音画面の上側には、録音オーディオファイル形式およびサンプリング周波数、左側に入力ソース、メーターバーの下に録音プロジェクト名が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。再度、RECORD [●] ボタンを押すと録音が始まります。



3チャンネルまたは4チャンネル録音時のファイル名

3チャンネルまたは4チャンネル録音では、2つのファイルが同時にできます。

内蔵マイク（1/2チャンネル）のファイルと外部マイクまたは外部機器（3/4チャンネル）のファイルがセットで作成されます。

TASCAM_0002S12.WAV

① ② ③ ④

TASCAM_0002S34.WAV

① ② ③ ④

- ①：ファイル名設定 画面の **ワード** 項目の設定による
- ②：録音ファイルの基本番号
- ③：S → ソースファイル
- ④：アサインチャンネル
(12 → 1/2チャンネル、34 → 3/4チャンネル)

再生音に入力音を重ねて録音する（オーバーダブ）

すでに録音したファイルを再生しながら、その再生音に入力音を重ねて新しいファイルとして録音することができるモードと、もとの録音ファイルを残したまま、新たな録音ファイルを加えることができるモードがあります。

メモ

- オーバーダブモードでは、プリレック機能／オートレック機能は無効になります。
- オーバーダブモードでは、手動でファイルを更新することはできません。
- オーバーダブモードでは、一時停止はできません（RECORD [●] ボタン操作を受け付けません）。
- オーバーダブモードでは、録音フォーマット／サンプリング周波数の設定にかかわらず、再生ファイルのフォーマット、サンプリング周波数となります。
- オーバーダブモードでは、MSデコーダーを使用することはできません。
- 再生ファイルがモノラルファイル時は、録音ファイルもモノラルとなります。

注意

再生ファイルがWAV / BWF 96kHzまたはMP3フォーマットで2ファイルの場合は、**ミックス** モードで録音できません。ミックスダウンを使用して1ファイルにまとめてからオーバーダブを行ってください。（→ 53ページ「ミックスダウン」）

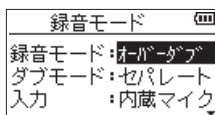
再生ファイルがモノラルの場合は、**セパレート** モードで録音できません。ミックス モードでご使用ください。



録音ボタンを押すと、ファイル名の左に H が出ると同時に、エラーのポップアップメッセージが表示されます。

オーバーダブの設定する

1. REC MODEボタンを押して、録音モード 画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って 録音モード 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って オーバーダブ に設定します。



4. ◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
5. +ボタンまたは-ボタンを使って ダブモード 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。

6. +ボタンまたは-ボタンを使って、オーバーダブモードを設定します。

ダブモード (選択肢)	内容
ミックス	1/2チャンネル、3/4チャンネルのファイルの再生音と入力音をミックスして新たなファイルとして録音します。 再生ファイルは、上書きされません。
セパレート (初期値)	1/2チャンネルのファイルを再生しながら3/4チャンネルに新たなファイルとして録音します。 1/2チャンネルの再生音は、ミックスされません。 再生ファイルは、上書きされません。

メモ

セパレートモードの録音は、再生音とは別のファイルに録音ファイルを作成するため、同じ再生音を使い何度も録音ができます。何度も録音した複数の録音ファイルの中から、後で聞き直して選択することも可能です。

7. ◀▶ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
8. +ボタンまたは-ボタンを使って入力項目を選択(反転表示)し、ENTRY/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
9. +ボタンまたは-ボタンを使って、入力ソースを設定します。

入力 (選択肢)	内容
内蔵マイク (初期値)	内蔵マイクで録音します。
EXT IN L	外部入力 (L) から録音します。 ステレオファイルに対してオーバーダブ録音 (ミックスモード) を行う場合は1/2チャンネルともに同じ入力音が録音されます。
EXT ペア	外部入力 (L/R) から録音します。 モノラルファイルに対してオーバーダブ録音 (ミックスモード) を行う場合は外部入力"L"からの入力音が録音されます。
EXT 独立	独立して入力レベルが設定できる外部入力2チャンネルを追加する

10. ◀▶ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
11. 設定が終了したら、◀/1 (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

入力音を重ねるファイルを選択する

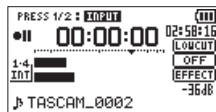
◀▶ボタン、▶▶ボタン、もしくはファイル/フォルダ画面で、音を重ねたいファイルを選択します。

メモ

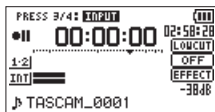
ファイル/フォルダ画面を使ってのファイルの選択は、40ページ「第5章 ファイルやフォルダの操作 (ファイル/フォルダ画面)」を参照してください。

オーバーダブを実行する

1. RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。



[ミックス録音時]

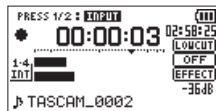


[セパレート録音時]

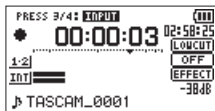
ミックスモード時は、1/2 [SOLO] ボタンを押すと入力音モニターがミュートされます。

セパレートモード時で4チャンネル録音したものを再生する場合は、3/4 [SOLO] ボタンを押すと入力音と再生ファイルが切り換わります。1ファイルのみの場合は、入力音がミュートされます。

2. RECORD [●] ボタンを押します。
オーバーダブが始まります。



[ミックス録音時]



[セパレート録音時]

録音が始まると RECインジケータが点灯し、録音画面には録音経過時間および録音残時間が表示されません。

再生可能なファイルが選択されていないときは、次のようなポップアップメッセージが表示されます。



3. 録音を終了するには、◀/1 (HOME) [■] ボタンを押します。

オーバーダブ録音時のファイル名

オーバーダブ録音では、**ダブモード** によってファイルの生成形式が異なります。

セパレートモードの場合

再生ファイル

TASCAM_0004S12.WAV

File-A: ① ② ③ ④

新規に録音されたファイル（再生音はミックスされず録音した音のみ）

TASCAM_0004S34.WAV

File-B: ① ② ③ ④

さらに同じ再生ファイル（File-A）を使用して録音する場合には、上記File-Bのファイルは下記のファイル（File-C）名に変更され、新たに録音されるファイルがFile-Bのファイル名になります。

TASCAM_0004V34t1.WAV

File-C: ① ② ③ ④ ⑥

さらにまた同じ再生ファイル（File-A）を使用して録音する場合には（上記のFile-BとFile-Cが保存されている状態）、File-Bのファイルは下記のように、⑥の番号が1つずつ増えたファイル名に変更され、新たに録音されるファイルがFile-Bのファイル名になります。

TASCAM_0004V34t2.WAV

File-D: ① ② ③ ④ ⑥

ミックスモードの場合

再生ファイル

TASCAM_0004S12.WAV

File-A: ① ② ③ ④

新規に録音されたファイル（再生音（File-A）とミックスされた音のみ）

TASCAM_0005S12.WAV

File-E: ① ② ③ ④

さらに同じ再生ファイル（File-A）を使用して録音する場合には、新たに録音されるファイル名は下記のようになります。

TASCAM_0006S12.WAV

File-F: ① ② ③ ④

このモードでは、同じ再生音を使用して録音する場合は、②の番号が増えるファイル名となっていきます。

- ①: **ファイル名設定** 画面の **ワード** 項目の設定による
- ②: 録音ファイルの基本番号
- ③: 5 → ソースファイル、**V** → バーチャルファイル
- ④: アサインチャンネル
(12 → 1/2チャンネル、34 → 3/4チャンネル)
- ⑥: バーチャルファイルの中のバックアップ通し番号

メモ

オーバーダブ・セパレートモードでは、再生ファイルのファイル名に録音ファイルの基本番号と **512** が追加されます。

外部からコピーしたファイルが書き込み不可となっている場合は、パソコンなどで書き込みを許可してください。

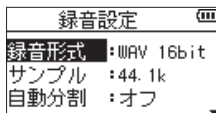
注意

本機でデュアル録音されたファイルに対してオーバーダブ・セパレートモード録音を行うと、ファイル名が変更され、デュアル録音ファイルとして扱われなくなります。
(→ 48ページ「デュアル録音したファイルの再生」)

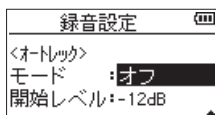
録音機能を自動で動作させる (オートレック機能)

入力音のレベルに応じて、録音の開始や一時停止とファイルの更新、マークの設定を自動で行う機能です。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **録音設定** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。

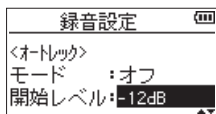


3. +ボタンまたは-ボタンを使って **モード** 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
4. +ボタンまたは-ボタンを使って、オートレックのモードを設定します。



オフ（初期値） : オフ
 新ファイル : 自動で録音と停止を行うモード
 マーク : 録音中に自動でマークを付けるモード

5. ◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態にします。
6. +ボタンまたは-ボタンを使って **開始レベル** 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。



7. +ボタンまたは-ボタンを使って、信号が入力されたと判断する基準レベルを -6dB、-12dB（初期値）、-24dB、-48dB の中から設定します。
8. 設定が終了したら、◀/▶ (HOME) [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。
9. RECORD [●] ボタンを押し、録音待機状態にします。入力音が **開始レベル** 項目で設定した基準レベルを上回ると自動で録音を開始します。

10. 録音中の動作は **モード** の設定により、次のようになります。

新ファイル のとき :

入力音が **開始レベル** 項目で設定した基準レベルを5秒以上にわたって下回ると録音待機状態になり、その後入力音が基準レベルを上回ると新しいファイルに録音を再開します。

マーク のとき :

入力音が **開始レベル** 項目で設定した基準レベルを5秒以上にわたって下回った後に、入力音が基準レベルを上回るとその位置にマークを付けます。

11. 録音を停止させる場合は、◀/▶ (HOME) [■] ボタンを押してください。

ヒント

プリレック機能と組み合わせることにより、音の出だし部分を欠かさず録音できます。

注意

- オーバーダブモードでは、オートレック機能は、使用できません。
- オートレック機能がオン有的时候には、セルフタイマー機能は使用できません。ただし、オーバーダブモード時はオートレック機能が使用できないため、オートレック機能がオンに設定されていてもセルフタイマーは使用可能です。

録音中にファイルを切り換えて録音を続ける (トラックインクリメント)

録音中に手動で、または設定した最大ファイルサイズになったときに自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続することができます (トラックインクリメント機能)。

録音中に手動でファイルを分割する

録音中に、いつでも簡単に手動でファイルを更新し、録音を継続することができます。

1. 録音中に、▶▶ボタンを押します。

メモ

新しいファイルが作成されると、プロジェクト名の末尾の数字が繰り上がります。

注意

- フォルダーとファイルの総数が5000個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。
- 録音時間が2秒以内のファイルを作成することはできません。また、サンプリング周波数が96kHzの場合は4秒以内のファイルを作成することはできません。
- 新たに作成するファイルのファイル名がすでに存在する場合は、さらに数字が繰り上がります。
- オーバーダブモードでは、トラックインクリメント機能は使用できません。

設定した時間で自動的にファイルを分割する

録音中に、**自動分割** 画面で設定した時間に達すると、自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続します。

以下の手順で自動的にトラックインクリメントする最大時間の設定を行います。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **録音設定** メニュー項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
録音設定 画面が表示されます。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って **自動分割** 項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。

録音設定	
録音形式	: WAV 16bit
サンプル	: 44.1k
自動分割	: オフ

+ボタンまたは-ボタンを使って、自動でファイルを分割する時間を **オフ** (初期値)、5分、10分、15分、30分、60分 の中から設定します。

4. 設定が終了したら、**HOME** [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

注意

フォルダーとファイルの総数が5000個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。

メモ

ファイル形式によっては、同じ最大ファイルサイズにおける録音時間が異なります。

マーク機能

録音中に手でマークを付ける

録音中に手で任意の位置にマークを付けることができます。

1. 録音中にENTER/MARKボタンを押します。
マーク番号がディスプレイの下部にブルアップ表示されます。



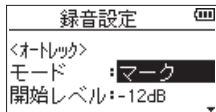
メモ

- マークは、ファイルごとに01～99まで設定でき、ファイルにマークの情報を記録します。
- 本機で録音したWAVファイルは、BWFフォーマットに対応しているため、録音中に付けたマークの情報はファイルへ保存されます。BWF対応ソフトなどで、このマーク情報を使用することができます。
- 内蔵マイク使用時にマークを付けるとボタンを押す音が録音される場合があります。この場合は、リモコンをご使用ください。

録音中に自動でマークを付ける

オートレック機能により自動でマークをつけるように設定することができます。

録音設定画面内 オートレック 設定のモード項目をマークに設定します。



詳細は、33ページ「録音機能を自動で動作させる（オートレック機能）」を参照してください。

マークの位置への移動

停止中または再生中に、選択されているファイルに挿入されているマークの位置へ移動することができます。

頭出しのためのインデックスのように使用することができます。

1. 停止中または再生中にENTER/MARKボタンを押しながら、◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押します。

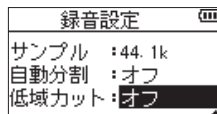
メモ

異なるファイルのマークへの移動はできません。

低域カットフィルターを設定する

低域カットフィルターを使用すると、空調機やプロジェクターなどによるノイズや耳障りな風切音などのノイズを低減することができます。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って録音設定メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って低域カット項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。



+ボタンまたは-ボタンを使って、マイク入力時の口低域カットフィルターのカットオフ周波数を設定します。

選択肢：オフ（初期値）、40Hz、80Hz、120Hz

注意

- LINE入力を選択したときには、低域カットフィルターを使用することはできません。
- マイクを使って録音を行うときは、モニターシステムにヘッドホンを使って行ってください。スピーカーを使ってモニターすると、スピーカーの出力音が入力されて、正常な音で録音できない、またはハウリング（フィードバック）を起こす可能性があります。

メモ

低域カットの項目は、録音中および録音待機中でも設定/変更することができます。

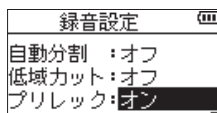
ヒント

本機には、エフェクターが内蔵され、必要に応じて入力ソースに掛けることができます。（→ 54ページ「第8章 エフェクター」）

録音開始の少し前から録音する (プリレック)

録音待機中に入力される信号を最大2秒間録音しておき、録音開始時に最大2秒前からの信号を録音することができます。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **録音設定** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って **プリレック** 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
4. +ボタンまたは-ボタンを使って、オン に設定します。（初期値：オフ）



5. 設定が終了したら、HOME[■]ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

ヒント

オートレック機能と組み合わせることにより、出音の部分を欠かすことなく録音できます。

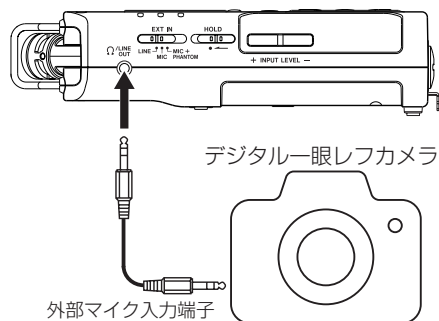
メモ

- 録音待機状態になってから2秒以内に録音を開始した場合は、録音待機状態にした時点からの録音となります。
- オーバーダブモードでは、プリレック機能は無効になります。

スレートトーン機能を使う

スレートトーン機能は、録音開始時や録音終了時に自動的にトーン信号を挿入する機能です。

左サイドパネルのΩ/LINE OUT端子とビデオカメラや動画撮影が可能なデジタルカメラの外部マイク入力端子を接続してスレートトーン機能を使うと、同じトーン信号がお互いのファイルに記録されるので、動画編集ソフトで位置合わせの際に目安にすることができます。

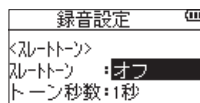


[接続例]

スレートトーン機能を設定する

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **録音設定** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って **スレートトーン** 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
4. +ボタンまたは-ボタンを使って、トーン信号を挿入する位置を設定します。

選択肢：オフ（初期値）、録音開始時（録音開始時のみ）、開始+終了（録音開始時と終了時）



5. 設定が終了したら、HOME[■]ボタンを押してホーム画面に戻ります。

メモ

スレートトーン機能設定中は、録音画面にTONEアイコンが表示されます。

注意

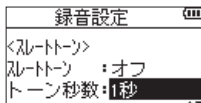
オートレックによって録音が停止したときは、終了時のトーン信号は録音されません。

スレートトーンの長さを設定する

スレートトーンのトーン長を設定します。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **録音設定** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って **トーン秒数** 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
4. +ボタンまたは-ボタンを使って、トーン長を設定します。

選択肢：0.5秒、1秒（初期値）、2秒、3秒



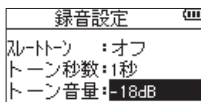
5. 設定が終了したら、φ/I (HOME)[■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

スレートトーンの音量を調節する

スレートトーンの音量を調節することができます。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **録音設定** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って **トーン音量** 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
4. +ボタンまたは-ボタンを使って、トーンの音量を調節します。

選択肢：-12dB、-18dB（初期値）、-24dB、-30dB、-36dB



5. 設定が終了したら、φ/I (HOME)[■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

セルフタイマー機能

カメラのセルフタイマーのように、設定時間経過後に録音を開始するように設定ができます。

1. 停止中または再生中にRECORD [●] ボタンを押して録音待機状態にし、PB CONTボタンを押します。
2. レコーダーの動作状態表示部が、セルフタイマーアイコン に変わり、その右に時間が表示されます。PB CONTボタンを押すたびに、以下のように設定が変わります。
 アイコン右の時間表示
OFF（初期値）→ 5S（5秒）→ 10S（10秒）→ OFF



3. 時間を設定後、RECORD [●] ボタンまたはPLAY [▶] ボタンを押します。
設定時間経過後、録音が開始されます。

メモ

- 録音中に一時停止したときにはセルフタイマー機能は、使用できません。
- オートリック機能がオンのときにはセルフタイマーは使用できません。

ソロ機能

1/2 [SOLO] ボタンまたは3/4 [SOLO] ボタンを長押しすると、ソロ機能の設定を行うことができます。4CH録音モードなどで複数の入力が録音対象となっている場合に使用し、どちらか一方の入力のみをモニターすることができます。ソロ状態は、入力ソースのアイコンで確認することができます。

録音時間について

各ファイルフォーマットにおける、SD / SDHC / SDXCカード容量別の録音時間を以下の表に示します。

ファイルフォーマット (録音時の設定)		SD / SDHC / SDXCカード容量				
		1GB	2GB	4GB	8GB	
WAV / BWF 16ビット (ステレオ)	44.1kHz	1時間41分	3時間22分	6時間44分	13時間28分	
	48kHz	1時間33分	3時間06分	6時間12分	12時間24分	
	96kHz	46分	1時間33分	3時間06分	6時間12分	
WAV / BWF 24ビット (ステレオ)	44.1kHz	1時間07分	2時間15分	4時間30分	9時間00分	
	48kHz	1時間02分	2時間04分	4時間08分	8時間16分	
	96kHz	31分	1時間02分	2時間04分	4時間08分	
MP3 (ステレオ/モノラル)	32kbps	44.1kHz / 48kHz	74時間32分	149時間04分	298時間08分	596時間16分
	64kbps	44.1kHz / 48kHz	37時間16分	72時間32分	149時間04分	298時間08分
	96kbps	44.1kHz / 48kHz	24時間50分	49時間40分	99時間20分	198時間40分
	128kbps	44.1kHz / 48kHz	18時間38分	37時間16分	74時間32分	149時間04分
	192kbps	44.1kHz / 48kHz	12時間25分	24時間50分	49時間40分	99時間20分
	256kbps	44.1kHz / 48kHz	9時間19分	18時間37分	37時間16分	74時間32分
	320kbps	44.1kHz / 48kHz	7時間27分	14時間54分	29時間48分	59時間36分

- 上記録音時間は目安です。ご使用のSD / SDHC / SDXCカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、SD / SDHC / SDXCカードに可能な録音合計時間です。
- 録音時間が24時間を超えると、自動的に新しいファイルを作成し、録音を継続します。
- WAV形式のモノラル録音の場合は、上記録音時間の約2倍の時間となります。
- WAV / BWF形式のデュアル録音 / 3チャンネルまたは4チャンネル録音の場合は、上記録音時間の約半分の時間となります。

ファイル／フォルダー画面では、SDカード上のMUSICフォルダー（オーディオファイルの収納フォルダー）の内容を見ることができます。また、この画面で選択したオーディオファイルの再生や削除、フォルダーの作成や再生リストへの登録などができます。（→ 44ページ「再生リスト」）

ヒント

本機とパソコンをUSB接続するか、あるいはSDカードを直接パソコンにセットすることにより、パソコンからもMUSICフォルダー内のフォルダー構成の変更やファイルの削除ができます。さらにパソコンからはファイル名の編集が可能です。

ファイル／フォルダー画面を表示するには、MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、+ボタンまたは-ボタンを使ってファイル／フォルダーメニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。



この画面には、ファイル／フォルダー画面を表示する前に、ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

ファイル／フォルダー画面内のナビゲーション

ファイル／フォルダー画面には、パソコンにおけるファイルのリスト表示のように、フォルダーや音楽ファイルが「階層ツリー形式」で表示されます。フォルダーは、第2階層まで作成できます。

+ボタンまたは-ボタンを使って、ファイルやフォルダーを選択します。

- フォルダーを選択中（反転表示中）に▶▶ボタンを押すと、フォルダーの内容が表示されます。
- ファイルやフォルダーを選択中（反転表示中）に◀◀ボタンを押すと、現在開いているフォルダーが閉じて、上位の階層レベルが表示されます。
- フォルダーやファイルを選択中（反転表示中）にQUICKボタンを押すと、ポップアップメニューが表示されます。
- ファイルを選択中（反転表示中）にENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押すと、ホーム画面に戻りそのファイルが再生されます。
このファイルを含むフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、再生範囲設定がフォルダーの場合は、このフォルダーが再生範囲になります。
- フォルダーが選択中（反転表示中）にENTER/MARKボタンを押すと、ホーム画面に戻り、そのフォルダーの最初のファイル（リスト表示したときに一番上に表示されるファイル）が再生されます。
このフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、直前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定がフォルダーになり、このフォルダーが再生範囲になります。

ファイル／フォルダー画面内のアイコン表示

以下にファイル／フォルダー画面内のアイコン表示内容を説明します。

MUSICフォルダー (📁)

ルート（ROOT）階層表示中のファイル／フォルダー画面では、最上段にMUSICフォルダーが表示されます。

オーディオファイル (🎵)

音楽ファイルは、🎵 アイコンのあとにファイル名が表示されます。

フォルダー (📁)

内部にフォルダーが存在するフォルダーです。

フォルダー (□)

内部にフォルダーが存在しないフォルダーです。

表示中のフォルダー (📁)

現在、このフォルダーの内容を画面表示しています。

ファイル操作

ファイル／フォルダー画面内の希望のオーディオファイルを選択（反転表示）し、**QUICK**ボタンを押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。



+ボタンまたは-ボタンを使って希望の項目を選択（反転表示）し、**ENTER/MARK**ボタンを押すと、本機が以下の動作を行います。

ファイル情報

選択したファイルの情報（日付、サイズ）が表示されます。再度**ENTER/MARK**ボタンを押すか、**HOME** [■] ボタンを押すと、**ファイル／フォルダー**画面に戻ります。



リスト登録

再生リストに選択したファイルを登録します。（→ 44 ページ「再生リスト」）

ファイル入替

下記の録音モードで録音されたファイルの入れ換えができます。

4CHモードの場合：

録音された内蔵マイク（1/2チャンネル）のファイルと外部マイクまたは外部機器（3/4チャンネル）のファイルが入れ換えることができます。

例) TASCAM_0002S12.WAV → TASCAM_0002S34.WAV
TASCAM_0002S34.WAV → TASCAM_0002S12.WAV

オーバーダブ・セパレートモードの場合：

①再生ファイルと新規に録音されたファイルの入れ換えることができます。

例) TASCAM_0004S12.WAV → TASCAM_0004S34.WAV
TASCAM_0004S34.WAV → TASCAM_0004S12.WAV

上記は、32ページのFile-AとFile-Bが入れ換えできることを意味します。

②新規に録音されたファイルとそれによって保存されたバーチャルファイルを入れ換えることができます。

例) TASCAM_0004S34.WAV → TASCAM_0004V34t1.WAV
TASCAM_0004V34t1.WAV → TASCAM_0004S34.WAV

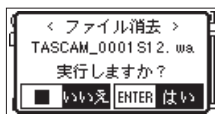
上記は、32ページのFile-BとFile-Dを入れ換えることもできます。

ただし、バーチャルファイル同士（たとえば32ページのFile-CとFile-D）は、入れ換えることはできません。

ファイル消去

選択したファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

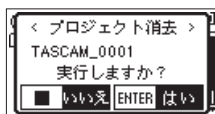
ENTER/MARKボタンを押すとファイルが削除され、**HOME** [■] ボタンを押すと削除が中止されます。



プロジェクト消去

選択したファイルが属するプロジェクトを削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

ENTER/MARKボタンを押すとプロジェクトごと削除され、**HOME** [■] ボタンを押すと削除が中止されます。



注意

選択したプロジェクト内のファイルが全て削除されます。

キャンセル

選択中（反転表示中）のファイルに関する操作をキャンセルしポップアップメニューを閉じます。

メモ

QUICKボタンを押すことでポップアップメニューを閉じることもできます。

フォルダー操作

ファイル／フォルダー画面内の希望のフォルダーを選択し、**QUICK**ボタンを押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。



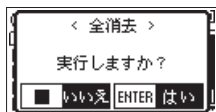
+ボタンまたは-ボタンを使って希望の項目を選択（反転表示）し、**ENTER/MARK**ボタンを押すと本機が以下の動作を行います。

フォルダー選択

ホーム画面に戻り、選択したフォルダー内の最初のファイルが選択されます。直前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定が**フォルダー**になり、このフォルダーが再生範囲になります。また、この操作で選択されたフォルダーに、録音したファイルが保存されます。

フォルダー内消去

選択したフォルダー内のファイルを一括削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。**ENTER/MARK**ボタンを押すとファイルが削除され、**0/1 (HOME) [■]**ボタンを押すと削除が中止されます。



メモ

書き込み禁止ファイルや本機で認識されていないファイルは、削除されません。

キャンセル

選択中（反転表示中）のフォルダーに関する操作をキャンセルしポップアップメニューを閉じます。

メモ

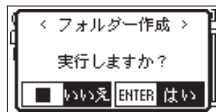
QUICKボタンを押すことでポップアップメニューを閉じることもできます。

新しいフォルダーを作る

各フォルダーの一番下に、**フォルダー作成**があります。



フォルダー作成を選択（反転表示）し、**ENTER/MARK**ボタンまたは**▶▶**ボタンを押します。新たなフォルダーを作成する確認のポップアップメッセージが表示されます。



ENTER/MARKボタンを押すとフォルダーが作成され、**0/1 (HOME) [■]**ボタンを押すと作成が中止されます。ただし、本機では3階層以上のフォルダーを扱うことはできないため、第2階層のフォルダーには**フォルダー作成**はありません。新規に作成されたフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、再生範囲設定が**フォルダー**の場合は、このフォルダーが再生範囲になります。

ホーム画面上では、◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを使って再生するファイルを選びます。このときに選択可能なファイルの範囲を「再生範囲」として設定することができます。SDカード上に数多くのファイルが記録されている場合など、選択範囲を限定することにより選択が容易になります。

再生設定 画面で、「全ファイル」、「現在のフォルダー」、「再生リスト」の中から再生範囲を選択することができます。また、「ファイル/フォルダー」画面を使って希望のフォルダーを再生範囲に設定することができます。

メモ

ファイル/フォルダー 画面では、再生範囲設定にかかわらず、カード上の希望のファイルを選択することができます。

再生の音量を調節する

内蔵スピーカーまたは Ω /LINE OUT端子から出力される音量を、ホーム画面表示中に+ボタンまたは-ボタンを使って調節します。

このとき、ボリューム位置がディスプレイの下部にプルアップ表示されます。

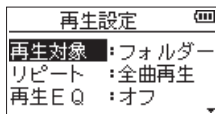


再生範囲を設定する（再生対象）

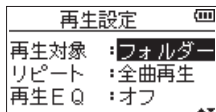
再生設定 画面で再生範囲を設定することができます。

1. MENUボタンを押して、メニュー 画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **再生設定** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。

再生設定 画面が表示されます。



3. +ボタンまたは-ボタンを使って **再生対象** 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。



4. +ボタンまたは-ボタンを使って、再生範囲を設定します。

全ファイル：

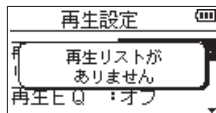
SDカード上のMUSICフォルダー内の全ファイルを再生することができます。

フォルダー（初期値）：

現在選択中のファイルが含まれているフォルダー内のファイルを再生することができます。

再生リスト：

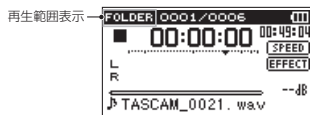
再生リストに登録されているファイルを再生することができます。（→ 44ページ「再生リスト」）再生リストが存在しない場合は、ポップアップメッセージ **再生リストがありません** を表示します。



5. 設定が終了したら、0/1 (HOME)[■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

現在の再生範囲設定が、ホーム画面左上部に表示されます。



ファイル/フォルダー画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する (1)

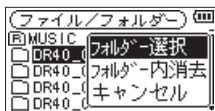
現在の再生範囲にかかわらず、ファイル/フォルダー画面でフォルダーを選択すると、選択したフォルダーが再生範囲になります。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使ってファイル/フォルダーメニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。ファイル/フォルダー画面が表示されます。



ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

3. ◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを使って階層を移動し、+ボタンまたは-ボタンを使って、フォルダーを選択（反転表示）します。ファイル/フォルダー画面でのナビゲーション操作については、39ページ「ファイル/フォルダー画面内のナビゲーション」をご覧ください。
4. QUICKボタンを押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。



+ボタンまたは-ボタンを使ってフォルダー選択を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンを押します。

ホーム画面に戻り、フォルダー内の最初のファイルが選択され、停止状態になります。

以前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定がフォルダーになり、このフォルダーが再生範囲になります。また、このフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルもここに保存されるようになります。

ファイル/フォルダー画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する (2)

再生範囲がフォルダーのとき、ファイル/フォルダー画面でファイルを選択すると、選択したファイルを含むフォルダーが再生範囲になります。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使ってファイル/フォルダーメニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。ファイル/フォルダー画面が表示されます。



ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを使って階層を移動し、+ボタンまたは-ボタンを使って再生したいファイルが入っているフォルダーを選択（反転表示）します。

ファイル/フォルダー画面でのナビゲーション操作については、39ページ「ファイル/フォルダー画面内のナビゲーション」をご覧ください。

3. ▶▶ボタンを押します。
4. 再生したいファイルを選択（反転表示）します。



5. ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。ホーム画面に戻り、選択したファイルが再生されます。また、このフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルもここに保存されるようになります。再生範囲がフォルダーに設定されていた場合は、選択したファイルを含むフォルダーが再生範囲になります。

再生リスト

再生するファイルのリスト（再生リスト）を作成することができます。

再生設定 画面の 再生対象 項目で 再生リスト に設定すると、再生リスト上のファイルを再生することができます。

再生リストに登録する

1. MENUボタンを押して、メニュー 画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って ファイル/フォルダメニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。ファイル/フォルダ 画面が表示されます。

メモ

ファイル/フォルダ 画面の詳細については、40ページ「第5章 ファイルやフォルダの操作（ファイル/フォルダ画面）」をご覧ください。

3. +ボタンまたは-ボタンを使って再生リストに登録したいファイルを選択し、QUICKボタンを押します。ポップアップメニューが表示されます。

メモ

ファイルの選択方法の詳細については、40ページ「第5章 ファイルやフォルダの操作（ファイル/フォルダ画面）」をご覧ください。

4. +ボタンまたは-ボタンを使って リスト登録 を選択（反転表示）します。



5. ENTER/MARKボタンを押します。選択（反転表示）したファイルが再生リストに登録され、ポップアップメニューが閉じます。
6. 必要に応じて上記手順3、4、5を繰り返します。リスト上では、登録順に番号が付けられます。

再生リストを編集する

再生リスト 画面には、作成した再生リストが表示されます。また、この画面を使って、ファイルの再生や再生リストの編集を行うことができます。

1. MENUボタンを押して、メニュー 画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って ファイル/フォルダメニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。ファイル/フォルダ 画面が表示されます。
3. ◀◀ボタンを使って、一番上の階層まで階層を移動します。



4. +ボタンまたは-ボタンを使って 再生リスト を選択（反転表示）して、▶▶ボタンを押します。再生リスト 画面が表示されます。



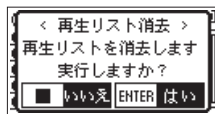
5. +ボタンまたは-ボタンを使って編集したいファイルを選択（反転表示）し、QUICKボタンを押します。ポップアップメニューが表示されます。



6. +ボタンまたは-ボタンを使って希望の項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンを押すと、本機が以下の動作を行います。

全リスト消去：

再生リスト上の全てのファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されますので、削除する場合は ENTER/MARKボタンを押します。削除しない場合は ◀/ (HOME) [■] ボタンを押します。この操作の場合は、手順5.でどのファイルを選択してもかまいません。全ファイルが再生リストから削除されますが、SDカードからは削除されません。



登録解除：

ファイルを再生リストから削除します。再生リストから削除されますが、SDカードからは削除されません。

移動：

選択しているファイルの順番を変更します。ファイル名だけでなく、番号の数字も反転表示になります。

- +ボタンまたは-ボタンを使って、再生リスト内で選択ファイルの順番を移動します。



上図は、4番目のファイルを3番目に移動した例です。

- ENTER/MARKボタンを押します。移動が完了して、通常の 再生リスト 画面に戻ります。

キャンセル：

選択中のファイルに関する操作をキャンセルします。

再生するファイルを選択する(スキップ)

ホーム画面で、◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して、再生したいファイルを選択します。

ファイルの再生途中で◀◀ ボタンを押すとファイルの先頭へ戻り、ファイルの先頭で◀◀ ボタンを押すと1つ前のファイルの先頭にスキップします。

ファイルの先頭、または途中で▶▶ ボタンを押すと、次のファイルへスキップします。

メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。
- 再生中のファイル情報(曲名など)やファイル番号がディスプレイに表示されます。
- ファイルの先頭で停止しているときは、ディスプレイに動作アイコン ■ を表示します。ファイルの途中で停止しているときは、動作アイコン II を表示します。
- 現在の位置からファイルの先頭または最後まで(間にIN点(ループ再生の始点)およびOUT点(終点)がある場合には、その点に移動します。ファイルを移動したい場合には、◀◀ ボタンまたは▶▶ ボタンを必要だけ押してください。

再生する

ホーム画面で停止中にPLAY [▶] ボタンを押すと、再生を始めます。

メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。
- ファイル/フォルダー 画面でファイル名を選択して再生させることもできます。

一時停止する

ホーム画面で再生中に⏸ (HOME)[■] ボタンを押すと、その位置で再生を停止します。(一時停止)

再度PLAY [▶] ボタンを押すと、その位置から再生を始めます。

停止する

ホーム画面で再生中に⏹ (HOME)[■] ボタンを押して一時停止状態にし、再度⏹ (HOME)[■] ボタンを押すと、ファイルの先頭に戻ります。(停止)

早戻し/早送りをする(サーチ)

ホーム画面で停止中または再生中に◀◀ ボタン/ ▶▶ ボタンを押し続けると、早戻し/早送りサーチ再生を行います。

メモ

◀◀ ボタン/ ▶▶ ボタンを押し続けるとサーチスピードが加速してゆきます。

繰り返し再生する(リピート)

1つのファイルを繰り返し再生する、または指定した範囲内の複数のファイルを繰り返し再生することができます。

- MENU ボタンを押して、メニュー 画面を表示します。
- + ボタンまたは- ボタンを使って **再生設定** メニュー項目を選択(反転表示)し、ENTER/MARK ボタンまたは▶▶ ボタンを押します。
再生設定 画面が表示されます。
- + ボタンまたは- ボタンを使って **リピート** 項目を選択(反転表示)し、ENTER/MARK ボタンまたは▶▶ ボタンを押します。

再生設定	
再生対象	:再生リスト
リピート	: 全曲再生
再生EQ	:オフ

- + ボタンまたは- ボタンを使って、リピートのモードを設定します。

全曲再生 (初期値):

通常の再生(再生範囲内の連続再生)を行うモードです。

1曲再生:

1ファイルだけ再生するモードです。リピートは行いません。

ホーム画面に ♪ アイコンが表示されます。

1曲繰り返し:

再生中のファイルをリピート再生するモードです。

ホーム画面に ♪ アイコンが表示されます。

全曲繰り返し:

再生範囲設定で設定した範囲内の全ファイルをリピート再生するモードです。ホーム画面に ♪ アイコンが表示されます。

メモ

上記の **リピート** 項目を **全曲再生** 以外に設定しているときにループ再生を実行すると、リピート再生が自動的に **全曲再生** になります。

- 設定が終了したら、⏹ (HOME)[■] ボタンを押して、ホーム画面に戻り、再生を開始します。

特殊な再生（再生コントロール機能）

本機の再生コントロール機能を使って、ファイル内の希望の区間を繰り返し再生する、または音程を変えずに再生スピードを変えることができます。また、再生したときに小さくて聴き取りにくいときに、全体の音圧感を調整して聴き取りやすくすることができます。

これらの再生コントロール機能を使って、練習やフレーズコピーを効果的に行うことができます。

再生コントロール機能の設定

再生コントロール機能の設定は、再生コントロール画面で行います。

ホーム画面で停止中または再生中にPB CONTボタンを押すと、再生コントロール画面が表示されます。



この画面では、再生スピード、ループ再生の設定ができます。

この画面内での設定作業を終えた後、HOME [■] ボタンまたはPB CONTボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

指定した区間を繰り返し再生する（ループ再生）

以下の手順で、ファイル内の希望の区間を繰り返し再生（ループ再生）することができます。

1. ホーム画面で停止中または再生中にPB CONTボタンを押して、再生コントロール画面を表示します。



2. PLAY [▶] ボタンを押して再生し、ループ再生したい区間の始点でENTER/MARKボタンを押します。
現在位置がIN点（始点）として設定されます。
再生位置表示バーの下部には、該当する位置に [] が点灯します。
3. ループ再生したい区間の終点でENTER/MARKボタンを押します。
現在位置がOUT点（終点）として設定され、IN-OUT点間のループ再生が開始されます。
再生位置表示バーの下部には、該当する位置に [] が点灯します。
ループ再生中は [] が点灯します。

PB CONTボタンを押すと、IN点（始点）／OUT点（終点）の設定、およびループ設定が有効なままホーム画面に戻ります。このとき、ホーム画面でも [] が点灯し、再生位置表示バーの下部には、IN点（始点）／OUT点（終点）に該当する位置に [] / [] が点灯します。



メモ

- IN-OUT点間が短すぎる場合には、**間隔が短かすぎます**というポップアップメッセージが表示されます。1秒以上空けて設定し直してください。
- 再度ENTER/MARKボタンを押すと、IN点（始点）およびOUT点（終点）をクリアします。
- ループ再生を中止するには、再生コントロール画面を表示中にMENUボタンを押します。再度MENUボタンを押すと、設定されているIN-OUT点間でループ再生を行います。
- 2つ以上のファイルをまたいでのIN点（始点）およびOUT点（終点）の設定はできません。
- 違うファイルに対してIN点（始点）を設定すると、以前のIN点（始点）およびOUT点（終点）の設定は解除されます。
- MP3ファイルがVBR（可変ビットレート）形式の場合は、正確なIN点（始点）およびOUT点（終点）の指定ができない場合があります。

再生スピードを変える (VSA機能)

本機では、VSA機能 (Variable Speed Audition) が搭載されており、再生音の音程を保ったまま再生スピードを変えることができます。

注意

サンプリング周波数96kHzで録音されたファイルを選択しているとき、また、モノラル/ステレオモード、オーバーダブ・ミックスモード以外で録音されたファイルを選択しているときは、VSA機能は使用できません。ただし、このときにも **SPEED** アイコンが表示され、再生

スピードの変更は行うことができます。このファイルでは有効になりませんが、ホーム画面に戻って **◀▶** ボタンや **▶▶** ボタンを使うなどして44.1k/48kHzのファイルをロードしたときに、再生スピードの設定が有効になります。

再生コントロール画面表示中に、+ ボタンまたは- ボタンを押すと、再生スピードを早くするまたは遅くすることができます。



再生スピード可変範囲は、0.5 倍 (50%) ~ 1.5 倍 (150%) の範囲で、0.1 倍単位で設定可能です。

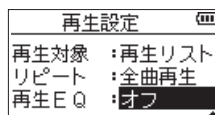
PB CONT ボタンを押すと、設定した再生速度が有効なままホーム画面に戻ります。

再生速度が 1.0 倍より大きいときには **SPEED+**、1.0 倍より小さいときには **SPEED-** と表示されます。

再生イコライザー (再生EQ) を使う

再生音を聴きやすくするために、お好みに合わせて音色を選択することができます (再生EQ: 再生イコライザー)。再生イコライザーの設定は、**再生設定** 画面で行います。

1. **MENU** ボタンを押して、メニュー 画面を表示します。
2. + ボタンまたは- ボタンを使って **再生設定** メニュー項目を選択 (反転表示) し、**ENTER/MARK** ボタンまたは **▶▶** ボタンを押します。**再生設定** 画面が表示されます。
3. + ボタンまたは- ボタンを使って **再生EQ** 項目を選択 (反転表示) し、**ENTER/MARK** ボタンまたは **▶▶** ボタンを押します。



4. + ボタンまたは- ボタンを使ってイコライザーの設定をします。

高域 / **中域** / **低域** が調節できることを示し、+ / - はその音域を上げるか下げるかを示します。

選択肢: オフ (初期値)、高域 +、高域 -、
中域 +、中域 -、低域 +、低域 -

5. 設定が終了したら、**◀/| (HOME)** [**■**] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

再生中に数秒前に戻り再生し直す(戻り再生)

再生中にPLAY [▶] ボタンを押すと、数秒前(設定可能)に戻って再生します。(戻り再生機能)

再生中に聴き直したいフレーズ、歌詞などがあったときにPLAY [▶] ボタンを押すことで、少し前から聴き直すことができます。

戻る時間は、**戻り再生** 項目で指定できます。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **再生設定** メニュー項目を選択(反転表示)し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
再生設定 画面が表示されます。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って **戻り再生** 項目を選択(反転表示)し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。

再生設定	
リピート	: 全曲再生
再生EQ	: オフ
戻り再生	: 5秒

4. +ボタンまたは-ボタンを使って、戻り再生機能で戻る時間を設定します。
1秒 ~ 18秒 の範囲で1秒刻み、および 20秒、30秒、オフ(0秒) で設定できます。(初期値: 3秒)
5. 設定が終了したら、○/1 (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

デュアル録音したファイルの再生

1/2 [SOLO] ボタン(メイン録音ファイル)または3/4 [SOLO] ボタン(バックアップ録音ファイル)を長押しすることによりデュアル録音されたファイルを選択できます。

入カソースアイコンが反転されているファイルが再生されず。

メモ

1/2 [SOLO] ボタンまたは3/4 [SOLO] ボタンを使ったファイルの切り換えは、ファイル名の最初の11文字をもとに検索し行います。ファイル名の変更などをした場合は、切り換わらないことがあります。

オーバーダブ入力ミュート機能(再生時)

セパレートモード

3/4 [SOLO] ボタンを押すことで入力音と3/4チャンネルの再生音を切り換えることができます。

オーバーダブ録音後に録音したファイルを聴き直す場合に使用します。

ミックスモード

1/2 [SOLO] ボタンを押すことで入力音のミュートをすることができます。

ソロ機能

1/2 [SOLO] ボタンまたは3/4 [SOLO] ボタンを長押しすることでソロ機能を設定することができます。

4CH録音モードで録音されたプロジェクトなど、複数のファイルが再生対象となっている場合にどちらか一方のファイルのみをモニターすることができます。

ソロ状態は、トラック状態表示により確認することができます。

QUICKボタンの概要

QUICKボタンを使うと、次のことができます。

- ホーム画面で停止中または一時停止中に押すと、現在の再生ファイルの削除、分割と出力音量補正機能（全体の音圧感を上げる）を使うためのクイックメニュー画面を表示します。
再生中は、出力音量補正機能のみのクイックメニュー画面を表示します。
- ホーム画面で録音待機中に押すと、入力レベル制御機能または内蔵ステレオマイクの左右を設定するためのクイックメニュー画面を表示します。
- ファイル／フォルダー 画面または 再生リスト 画面では、選択されているファイルまたはフォルダーを操作するポップアップメニューが表示されます。

メモ

メニュー 画面、その他 画面および 録音設定 画面などの各種設定画面では、QUICKボタンは無効です。

表示画面、状態におけるQUICKボタンの動作は、次のようになります。

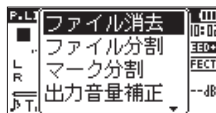
表示画面	状態	動作内容
ホーム画面	停止中／一時停止中	削除、分割、出力音量補正機能、ミックスダウン機能のクイックメニュー画面を表示
	再生中	出力音量補正機能のみのクイックメニュー画面を表示
	録音待機中	入力レベル制御機能、内蔵ステレオマイクの左右設定のクイックメニュー画面を表示
再生コントロール画面		出力音量補正機能のみのクイックメニュー画面を表示
ファイル／フォルダー 画面、再生リスト 画面		選択したファイル（またはフォルダー）を操作するポップアップメニューを表示
メニュー 画面、その他 画面、各種設定画面		—
ミキサー 画面		MSコード のオフ、1/2チャンネル、3/4チャンネルの選択

クイックメニュー画面

ホーム画面表示中にQUICKボタンを押すと、クイックメニュー画面が表示されます。

この画面に表示される内容は、QUICKボタンを押したときの状態により動作が異なります。

- ホーム画面で停止中または一時停止中のとき現在のファイルの削除、分割と出力音量補正機能が選択できます。



[停止中／一時停止中のクイックメニュー画面]

ファイル消去：

現在のファイルの削除ができます。（→ 50ページ「選択ファイルを削除する（クイックデリート）」）

ファイル分割：

現在のファイルを分割することができます。（→ 51ページ「選択ファイルを分割する（ファイル分割）」）

マーク分割：

現在のファイルを自動分割することができます。（→ 52ページ「選択ファイルをマークの場所で自動分割する（マーク分割）」）

出力音量補正：

全体の音圧感を上げて聴き取りやすくすることができます。（→ 53ページ「音圧感を上げて聴き取りやすくする（出力音量補正機能）」）

ミックスダウン：

3チャンネルまたは4チャンネル（1/2チャンネル、3/4チャンネルの2ファイル）を、L/Rの2チャンネル（1ファイル）にまとめる機能です。この時、エフェクトレベル、音量バランス、左右の定位を、ミキサー 画面にて自由に設定できます。（→ 53ページ「」）

- ホーム画面で再生中のとき、または再生コントロール画面のとき出力音量補正機能のみが選択できます。



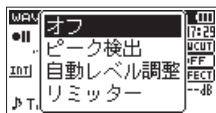
[再生中／再生コントロール画面のクイックメニュー画面]

- ホーム画面で録音待機中のとき入力レベル制御機能と内蔵ステレオマイクの左右設定が選択できます。



[録音待機中のクイックメニュー画面]

入力レベル制御 が選択（反転表示）されている状態で、ENTER/MARKボタンを押すと、入力レベル制御設定画面が表示されます。



この画面で、次の3つから入力レベル制御機能を選択できます。

ピーク検出：

入力音が大きすぎたときに、入力レベルを適度なレベルまで自動で下げます。

自動レベル調整：

入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように入力レベルを自動で調節します。

リミッター：

突発的な過大入力による歪みを防ぐことができます。

入力レベル制御機能の詳細は、25ページ「入力レベル制御機能を使う」を参照してください。

メモ

入力レベル制御機能で自動レベル調整に設定されている場合には、入力レベルの調節はできません。

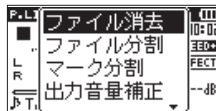
クイックメニュー画面を閉じる

クイックメニュー画面を閉じるには、QUICKボタンを押します。

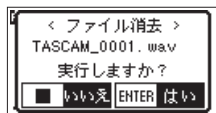
選択ファイルを削除する (クイックデリート)

ファイル/フォルダー画面を使わずに、現在選択されているファイルを削除することができます。

1. ◀▶ ボタン、▶▶ ボタンを使って、削除したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中にQUICKボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



3. + ボタンまたは- ボタンを使って、ファイル消去 項目を選択（反転表示）します。
4. ENTER/MARKボタンを押すと、ファイルの削除の確認画面が表示されます。

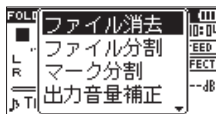


ENTER/MARKボタンを押すとファイルが削除され、φ/I (HOME) [■] ボタンを押すと削除が中止されます。

選択ファイルを分割する(ファイル分割)

録音したファイルを任意の位置で、2つのファイルに分割することができます。

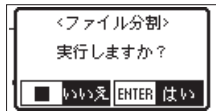
1. ◀▶ボタン、▶▶ボタン、もしくは **ファイル/フォルダ** 画面で、分割したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中に**QUICK**ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



3. +ボタンまたは-ボタンを使って **ファイル分割** 項目を選択(反転表示)し、**ENTER/MARK**ボタンを押します。
ファイル分割画面が表示されます。



4. +ボタンまたは-ボタンを使って分割する位置を決定し、**RECORD [●]**ボタンを押します。
以下のポップアップメッセージが表示されます。



5. **ENTER/MARK**ボタンを押すと、ファイルが分割されます。
○/I (HOME)[■]ボタンを押すと、分割されずに **ファイル分割** 画面に戻ります。

メモ

- **ファイル分割** 画面表示中に**PLAY [▶]**ボタンを押し、再生しながら位置を決めることもできます。
- **ファイル分割** 画面表示中は、**PLAY [▶]**ボタンを押すたびに再生/一時停止を切り換え、◀▶ボタンでファイルの先頭に、▶▶ボタンでファイルの最後に移動します。+ボタンまたは-ボタンを押すと分割位置の微調整が行え、長く押しと連続移動できます。
- 分割すると、ファイル名の末尾に「a」または「b」が付加されたファイルが作成されます。
(4CH録音モードの録音ファイル例)
分割前のファイル名
TASCAM_0003S12.wav
TASCAM_0003S34.wav
分割後のファイル名
TASCAM_0003aS12.wav (分割点より前の部分)
TASCAM_0003aS34.wav (分割点より前の部分)
TASCAM_0003bS12.wav (分割点より後の部分)
TASCAM_0003bS34.wav (分割点より後の部分)

注意

- MP3ファイルは、分割できません。
- SDカードの容量が少ない場合は、分割できないことがあります。
- ファイル名が200文字以上になる場合は、分割できません。
- 分割後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は、分割できません。
- パーチャルファイルが存在するプロジェクトをファイル分割する場合、パーチャルファイルも同時にファイル分割されます。

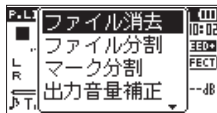
ヒント

録音中にあらかじめ分割したい位置にマークを付けておくことができます。(→ 35ページ「マーク機能」)

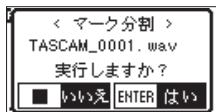
選択ファイルをマークの場所で自動分割する（マーク分割）

録音中に付けたマークの位置で、複数のファイルに自動分割することができます。

1. ◀▶ ボタン、▶▶ ボタン、もしくは **ファイル/フォルダー** 画面で、分割したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中に **QUICK** ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。

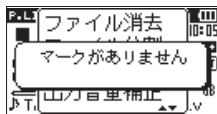


3. + ボタンまたは - ボタンを使って **マーク分割** 項目を選択（反転表示）し、**ENTER/MARK** ボタンを押します。
マーク分割 画面が表示されます。



メモ

ファイルにマークがない場合、ポップアップメッセージ **マークがありません** が表示されます。



4. **ENTER/MARK** ボタンを押すと、ファイルが分割されてホーム画面に戻ります。
⏪/⏩ (**HOME**) [■] ボタンを押すと、分割されずにホーム画面に戻ります。

メモ

分割すると、ファイル名の末尾に「_HH」が付加されたファイルが作成されます。

（4CH録音モードの録音ファイル例）

分割前のファイル名

TASCAM_0003S56.wav

TASCAM_0003S78.wav

分割後のファイル名

TASCAM_0003S56_01.wav（分割点より前の部分）

TASCAM_0003S78_01.wav（分割点より前の部分）

TASCAM_0003S56_02.wav（分割点より後の部分）

TASCAM_0003S78_02.wav（分割点より後の部分）

注意

- MP3ファイルは、分割できません。
- マークの間隔が2秒未満の部分が1箇所でもある場合は分割できません。
- SDカードの容量が少ない場合は、分割できないことがあります。
- ファイル名が200文字以上になる場合は、分割できません。
- 分割後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は、分割できません。
- バーチャルファイルが存在するプロジェクトをマーク分割する場合、バーチャルファイルも同時にマーク分割されます。

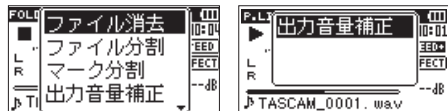
ヒント

録音中にあらかじめ分割したい位置にマークを付けておくことができます。（→ 35ページ「マーク機能」）

音圧感を上げて聴き取りやすくする (出力音量補正機能)

再生したときに小さくて聴き取りにくい音があるときなどに、全体の音圧感を上げて聴き取りやすくします。(出力音量補正機能)

1. ホーム画面で停止中または再生中に**QUICK**ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



[停止中]

[再生中]

2. +ボタンまたは-ボタンを使って、**出力音量補正**項目を選択(反転表示)し、**ENTER/MARK**ボタンを押します。
3. 出力音量補正設定画面が表示されます。



[停止中]

4. +ボタンまたは-ボタンを使って、**オン**を選択(反転表示)し**ENTER/MARK**ボタンを押すと、出力音量補正機能がオンになります。
オフを選択(反転表示)し**ENTER/MARK**ボタンを押すと、出力音量補正機能がオフになります。

メモ

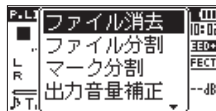
再生音の素材によっては、効果が少ない場合があります(すでに音圧調整が行われている音楽ファイルなど)。

ミックスダウン

3チャンネルまたは4チャンネル(1/2チャンネル、3/4チャンネルの2ファイル)を、L/Rの2チャンネル(1ファイル)にまとめる機能です。

この時、各チャンネルのエフェクトレベル(SEND)、左右の定位(PAN/モノラルの場合は BAL)、音量バランス(LUL)の調整を、**ミキサー**画面(→56ページ「第9章 ミキサー」)にて自由に設定できます。

1. ◀◀ボタン、▶▶ボタン、もしくは**ファイル/フォルダー**画面で、ミックスダウンをしたいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中に**QUICK**ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



3. +ボタンまたは-ボタンを使って **ミックスダウン**項目を選択(反転表示)し、**ENTER/MARK**ボタンを押します。
ミックスダウン画面が表示されます。



4. **ENTER/MARK**ボタンを押すとミックスダウンが開始されます。



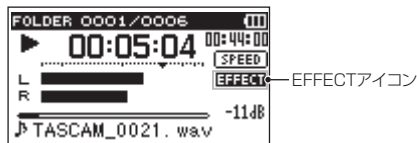
5. 終了後、ミックスダウンされた別ファイル(プロジェクト名の番号は、ミックスダウンする前にあった最終番号にインクリメントされた番号です)の再生ホーム画面となります。
この状態で**PLAY** [▶] ボタンを押すと、ミックスダウンされたファイルの再生がされます。

注意

再生ファイルがモノラルの場合、作成されるファイルもモノラルとなります。
モノラルファイルをミックスダウンする場合は、**ミキサー**画面の **BAL** つまみを **L12** に設定してください。

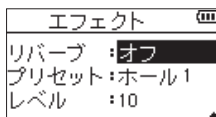
第8章 エフェクター

本機には、エフェクターが内蔵されています。録音時や練習時、入力信号にエフェクトを掛ける、または再生時に再生信号にエフェクトを掛けることもできます。エフェクターがオンのときは、ホーム画面上部の **EFFECT** アイコンが反転表示 (**EFFECT**) します。



エフェクターを設定する

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **その他** メニュー項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押して **その他** 画面を表示します。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って **エフェクト** メニュー項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。エフェクト画面が表示されます。



上図のように、エフェクト画面には、4つの設定項目があります。

◀◀ボタン / ▶▶ボタン、および+ボタン/-ボタンを使って各項目の設定をします。

リバース :

エフェクターのオン/オフ設定をします。
(初期値 : オフ)

プリセット :

使用するエフェクターをプリセットの中から設定します。
(初期値 : ホール 1)

エフェクターのプリセットの内容については、「エフェクターのプリセット一覧」(54ページ「エフェクターのプリセット一覧」)をご覧ください。

レベル :

プリセット項目で設定したエフェクターの出力レベルを変更することができます。設定範囲は、0 ~ 20 です。(初期値 : 10)

対象 :

エフェクトを掛ける入出力音のソースを、下記の中から選択できます。(初期値 : ミキサー)

対象 (選択肢)	内容
ミキサー (初期値)	オーバーダブ・ミックス録音時やミックスダウン録音時の出力音にエフェクトを掛ける
内蔵マイク	内蔵マイクからの入力音にエフェクトを掛ける
EHT IN	外部マイクまたは外部機器からの入力音にエフェクトを掛ける

ミキサーを選択したとき、各信号のエフェクトへの送りレベル (SEND) をミキサー画面で設定することができます。(→ 56ページ「第9章 ミキサー」)

4. +ボタンまたは-ボタンを使って希望の項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押すと、選択肢/値の設定ができるようになります。
5. +ボタンまたは-ボタンを使って、希望の選択肢/値に設定します。
6. ◀◀ボタンを押して、設定項目状態にします。
7. 設定が終了したら、◀/1 (HOME) [■] ボタンを押します。

注意

サンプリング周波数を96kHzに設定しているとき、およびサンプリング周波数が96kHzのWAVファイルを再生した場合には、エフェクター機能は働きません。このとき、エフェクターの設定をすることは可能です。

エフェクターのプリセット一覧

プリセットネーム	効果
ホール 1 (初期値)	ホールのような広い空間をイメージしたブライとなリバースです。
ホール 2	ホールのような広い空間をイメージしたウォームなリバースです。
ルーム	小さな室内の空間をイメージしたリバースです。
スタジオ	スタジオのような空間をイメージしたリバースです。
プレート 1	ブライとなプレートリバースです。
プレート 2	ウォームなプレートリバースです。

本機に内蔵しているエフェクトや、左右の定位、音量バランスを、チャンネルごとに設定できるミキサー機能があります。

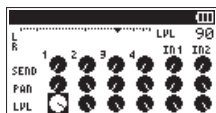
ミックスダウン（→ 53ページ「ミックスダウン」）や再生時に、これらを設定することにより、録音時の音に対し細かく変更ができます。

ミキサーを設定する

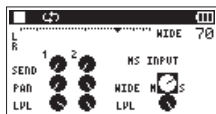
1. ホーム画面で、MIXERボタンを押してミキサー画面を表示します。



[4チャンネルファイル再生時]

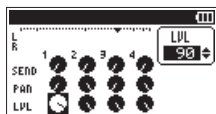


[オーバーダブ・ミックスモード時]



[4チャンネルファイル再生時 (3/4チャンネルMSデコード)]

2. ◀◀ボタン / ▶▶ボタンまたは+ボタン / -ボタンを使って、縦に配列している各チャンネル、横に配列された各設定の変更したい部分に持っていく、選択（反転表示）させます。
3. ENTER/MARKボタンを押すと、右上に設定項目名と設定値がポップアップ表示されます。



4. +ボタンまたは-ボタンを使って、設定値を変更します。

項目	設定範囲	動作内容
SEND	0~100	選択されているエフェクト（→ 54ページ「第8章 エフェクター」）の送りレベルを調整（0：最小～100：最大）
PAN / BAL	L12~C ~R12	左右のバランス調整（L12：左～C：中央～R12：右）
LVL	0~100	音量バランスの調整（0：最小～100：最大）

5. ENTER/MARKボタンを押すともとの場所へ戻り、次に設定値を変更したい場所を選択できる状態になります。

メモ

- 録音時、録音待機時、再生時、再生一時停止時、再生停止時のいずれの時も、操作が可能です。
- ミキサー画面表示中も、PLAY [▶] ボタンでの再生、⏏ (HOME) [■] ボタンでの再生一時停止が可能です。
- 録音モード画面でMSデコード項目をオンに設定中、ミキサー画面のクイックメニューのMSデコードはMSデコーダーの設定を確認してくださいと表示され、使用できません。

MSデコーダーを使用する

MSマイクを使用して録音する場合は、入力音をデコードしながら録音する方法とデコードせずに録音し、再生時にデコードする方法があります。

入力音をデコードしながら録音する方法

1. 外部入力端子にMSマイクを接続します。
MSマイクのMid側をEXT MIC L端子に、Side側をEXT MIC R端子にそれぞれ接続してください。
MidとSideを逆に接続すると正しくデコードすることができません。
2. 録音モード 画面において、録音モード 項目を ステレオ、デュアル、4CH のいずれかを選択し、入力 項目で EXT ペア を選択（4CHモード時は選択はありません）します。
3. MSデコード 項目をオンにします。
4. 録音操作を行うとデコードされた信号が録音されます。

再生音をデコードする方法

1. MSマイクを使い、MSデコード 項目を オフ にして録音したファイルを選択します。
2. ホーム画面表示中にMIXERボタンを押して、ミキサー画面を表示します。
3. QUICKボタンを押し、MSデコーダーを使用するチャンネル（1/2 または 3/4）を選択します。



4. 再生操作を行うとデコードしながら再生します。

MSデコーダーの設定

ミキサー 画面内の WIDE パラメーターで音の広がり具合を調節します。

録音時にデコードする場合は、録音待機中に ミキサー 画面を表示させてください。

入力側にデコーダーを使用しているときは MS INPUT、再生側に使用している場合は MS MONITOR と ミキサー 画面内に表示されます。

項目	設定内容	動作内容
WIDE	0~100	音の広がり具合を調節します。

0 でMidが100%となり、数字が大きいくほどSideの割合が大きくなります。

注意

MSデコーダーは、録音モード 画面内で MSデコード 項目をオンにした場合は、ミキサー 画面内では選択できません（MSデコーダーの設定を確認してくださいとメッセージが表示されます）。

再生時に使用する場合は、録音モード 画面内で MSデコード 項目を オフ にしてください。

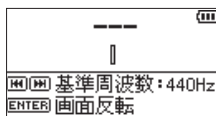
第10章 楽器をチューニングする (チューナー)

本機は、チューナーを内蔵しています。楽器の音を本機に入力することによって、ディスプレイのチューニングメーターを見ながら正確なチューニングができます。

チューナーを使う

チューナーを設定する

1. MENUボタンを押して、メニュー 画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **その他** メニュー項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押して **その他** 画面を表示します。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って **チューナー** メニュー項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
チューナー 画面が表示されます。



チューナー 画面では、A (ラ) 音の基準周波数を設定する **基準周波数** 項目があります。

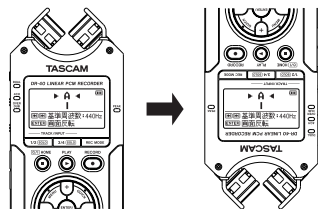
◀◀ボタンを押すと基準周波数の値が下がり、▶▶ボタンを押すと上がります。

設定範囲 : 435Hz ~ 445Hz (1Hz単位)

初期値 : 440Hz

メモ

チューナー 画面表示中にENTER/MARKボタンを押すと、画面の上下が反転します。

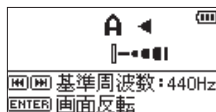


チューニングする

1. **チューナー** 画面が表示されている状態で、チューニングする楽器の音を入力します。
もっとも近い音名がメーター上部に表示されます。
2. 合わせたい音名が表示されて、メーター中央部が点灯するようにチューニングします。



チューニングが低すぎる場合は左側、高すぎる場合は右側にバーが表示されます。ズレが大きいほど、バーが長く表示されます。



注意

チューナーは、内蔵マイクのみ使用可能です。

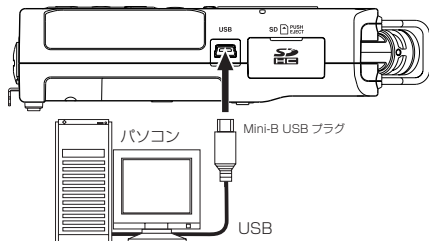
第11章 パソコンと接続する

本機をパソコンと付属のUSBケーブルで接続することで、本機のSDカードの中の音声ファイルをパソコンに取り出したり、パソコンの中の音声ファイルを本機に取り込んだりすることができます。

本機で取り扱うことができる音声ファイル形式は、以下の通りです。

MP3 : 32k ~ 320kbps, 44.1k/48kHz

WAV : 44.1k/48k/96kHz, 16/24ビット



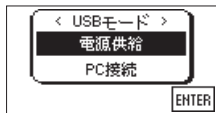
メモ

本機とパソコンをUSB接続する代わりに、本機からSDカードを取り外して直接（あるいはカードアダプターを使って）パソコンにセットしても、同じ操作ができます。

注意

- USBを接続し **PC接続** を選択（反転表示）した場合は、本機の操作はできません。
- パソコンとの接続は、ハブを経由せずに直接接続してください。

電源がオンのときにUSB接続すると、またはUSB接続後に電源をオンにすると、USBバスパワーで供給するか、パソコンとUSB接続するかを選択する **USBモード** 画面が表示されます。



+ボタンまたは-ボタンを使って **PC接続** を選択（反転表示）し、**ENTER/MARK**ボタンを押すと本機がパソコンに接続され、ディスプレイに **USB 接続中** が表示されます。



本機にSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。

メモ

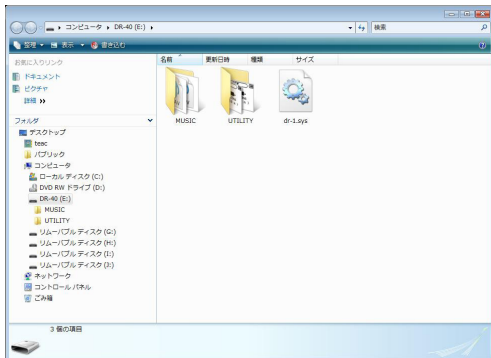
電池をセットした状態で、USB接続した場合は、USBから電源が供給されます。（USBバスパワー優先）

SDカードが正しく挿入されていない状態でUSB接続を行うと、ポップアップメッセージ **保存できません** が表示されます。

パソコンのディスプレイ上に、本機が **《DR-40》** というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます。

パソコンへファイルを取り出す

1. パソコンのディスプレイ上の **《DR-40》** ドライブをクリックすると、**《MUSIC》** フォルダと **《UTILITY》** フォルダが表示されます。
2. **《MUSIC》** フォルダを開き、パソコンに取り出したいファイルを任意の場所にドラッグ&ドロップします。



パソコンからファイルを取り込む

1. パソコンのディスプレイ上の **《DR-40》** ドライブをクリックすると、**《MUSIC》** フォルダと **《UTILITY》** フォルダが表示されます。
2. パソコンの任意の音声ファイルを **《MUSIC》** フォルダにドラッグ&ドロップします。

ヒント

- パソコン上の操作で、**《MUSIC》** フォルダ内を管理することができます。
- **《MUSIC》** フォルダ内にサブフォルダを作成することができます。サブフォルダは、2階層まで作成できます。本機では、3階層以下のサブフォルダおよびファイルは認識できません。
- 本機では、フォルダ内のみを再生範囲に設定することもできますので、取り込む楽曲のカテゴリーや演奏者別に整理しておくとう便利です。
- サブフォルダや楽曲に希望の名前を付けておくと、本機のホーム画面上やブラウズ画面上に表示されます。

パソコンとの接続を解除する

パソコンと本機の接続を外すときは、パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、USBケーブルを外します。シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。

パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

情報を見る（インフォメーション）

インフォメーション画面で、本機の種類情報を見ることができます。

以下の手順でインフォメーション画面を表示します。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **その他** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押して **その他** 画面を表示します。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って **インフォメーション** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。

インフォメーション画面には、以下の3ページがあります。+ボタンまたは-ボタンを使って、これらのページを切り換えることができます。

- **ファイル情報ページ（FILE）**：
現在ロードされているオーディオファイルの情報を表示
- **カード情報ページ（CARD）**：
セットしているSDカードの使用状況を表示
- **システム情報ページ（SYSTEM）**：
本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示

ファイル情報ページ（FILE）

FILE ページでは、現在ロードされているオーディオファイルの情報を表示します。

FILE	C1/S3
WAV : 16bit, ST, 44.1k	
タイトル : TASCAM_0001. wav	
日時 : 2000/01/01 00:00	
容量 : 967.5Kbyte	

WAV / BWF / MP3

オーディオファイルの形式を表示します。

WAV / BWFファイルの場合は、ビット長、ステレオ / モノラル、サンプリング周波数 (Hz) を表示します。

MP3ファイルの場合は、ビットレート (kbps)、CBR / VBR、サンプリング周波数 (Hz) を表示します。(CBR : 固定ビットレート、VBR : 可変ビットレート)

タイトル

ファイル名を表示します。

MP3ファイルでID3タグのタイトル情報がある場合は、その情報を表示します。

日時

ファイルの日付を表示します。

容量

ファイルサイズを表示します。

カード情報ページ（CARD）

CARD ページでは、挿入しているSDカードの使用状況を表示します。

CARD	C2/S3
再生可能数 :	1
フォルダー数 :	0
全容量 :	1.8G
空き容量 :	1.8G

再生可能数

MUSICフォルダー内にある再生可能なファイル数を表示します。

フォルダー数

MUSICフォルダー内にあるフォルダー数を表示します。

全容量

SDカードの総メモリー容量を表示します。

空き容量 / 使用容量

SDカードの残容量 / 使用量を表示します。

◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押すと、表示が **空き容量** と **使用容量** に交互に切り換わります。

CARD	C2/S3
再生可能数 :	1
フォルダー数 :	0
全容量 :	1.8G
使用容量 :	1.0M

システム情報ページ（SYSTEM）

SYSTEM ページでは、本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示します。

SYSTEM	C2/S3
自動電源制御 :	30分
バックライト :	5秒
電池タイプ :	ALKAL
ファームウェア :	2.20 0101

自動電源制御

電源の自動電源制御機能の設定を表示します。

バックライト

バックライトの点灯時間設定を表示します。

電池タイプ

使用する電池の種類の設定を表示します。

ファームウェア

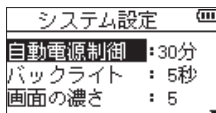
本機のシステムファームウェアのバージョン情報を表示します。

環境設定（システム設定）

使用環境や条件に合わせて本機を快適に使うためのさまざまな設定、および本機の初期化やSDカードの初期化などを、**システム設定** 画面で行います。

以下の手順で **システム設定** 画面を表示します。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **その他** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押して **その他** 画面を表示します。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って **システム設定** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
システム設定 画面が表示されます。



システム設定 画面の各項目で、以下の設定を行うことができます。

◀◀ボタン、▶▶ボタン、および+ボタンまたは-ボタンを使って、各項目の設定をします。

電源の自動電源制御機能の設定

自動電源制御 項目で電池駆動のときに、最後に動作あるいは操作してから自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。

選択肢：オフ（自動オフしない）、3分、5分、10分、30分（初期値）

バックライトの設定

バックライト 項目で電池供給のときに、最後に操作してから自動的にバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

選択肢：オフ（消灯）、5秒（初期値）、10秒、15秒、30秒、常時（常に点灯）

ディスプレイのコントラスト調節

画面の濃さ 項目でディスプレイのコントラストを調節します。

選択肢：1～20（初期値：5）

電池の種類の設定

電池タイプ 項目で、使用する電池の種類を設定します。この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。

選択肢：ALKAL（アルカリ乾電池、初期値）、Ni-MH（ニッケル水素電池）

ファントム電源の電圧値の設定

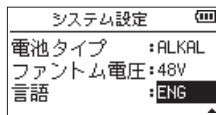
ファントム電圧 項目で、ファントム電源を必要とする外部マイクを接続して使用する際の供給電源電圧値を設定します。

選択肢：+24V、+48V（初期値）

言語を選択する

言語 項目で、ディスプレイに表示される言語を切り換えることができます。

1. +ボタンまたは-ボタンを使って **言語** 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。



2. +ボタンまたは-ボタンを使って、ディスプレイに表示する言語を設定します。

選択肢

ENG	: 英語で表示
日本語	: 日本語で表示
FRA	: フランス語で表示
ESP	: スペイン語で表示
DEU	: ドイツ語で表示
ITA	: イタリア語で表示
RUS	: ロシア語で表示
中文	: 中国語で表示

3. ENTER/MARKボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。



4. ENTER/MARKボタンを押して、言語設定を実行します。
言語選択をしない場合は、**o/I (HOME)**[■] ボタンを押します。

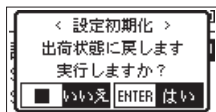
言語を間違えて設定してしまった。

- **o/I (HOME)**[■] ボタンを押して電源をオフにした後、MENUボタンを押しながら **o/I (HOME)**[■] ボタンを押してください。
言語選択メニューが表示され、言語の選択が可能となります。

初期設定に戻す

設定初期化 項目で設定初期化を実行することにより、本機のおさまりな設定を初期設定状態に戻すことができます。

1. +ボタンまたは-ボタンを使って **設定初期化** 項目を選択（反転表示）し、**ENTER/MARK**ボタンまたは▶▶ボタンを押すと、**実行** が反転表示します。
2. **ENTER/MARK**ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。

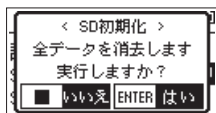


3. **ENTER/MARK**ボタンを押して、設定初期化を実行します。
設定初期化しない場合は、**o/I (HOME)**[■] ボタンを押します。

SD初期化する

SD初期化 項目で、SDカードを初期化します。SDの初期化を行うと、カード上の全ての音楽ファイルが消去され、“**MUSIC**” フォルダ、“**UTILITY**” フォルダおよび“**dr-1.sys**” が自動生成されます。

1. +ボタンまたは-ボタンを使って **SD初期化** 項目を選択（反転表示）し、**ENTER/MARK**ボタンまたは▶▶ボタンを押すと、**実行** が反転表示します。
2. **ENTER/MARK**ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。

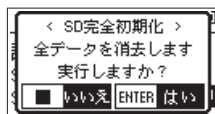


3. **ENTER/MARK**ボタンを押して、SDの初期化を実行します。
SDの初期化しない場合は、**o/I (HOME)**[■] ボタンを押します。

SD完全初期化する

SD完全初期化 項目で、SDカードを完全初期化します。SDの完全初期化を行うと、カード上の全ての音楽ファイルが消去され、“**MUSIC**” フォルダ、“**UTILITY**” フォルダおよび“**dr-1.sys**” が自動生成されます。SDの完全初期化では、メモリーのエラーをチェックしながら初期化を実行するため、SDの初期化と比べて多くの時間がかかります。

1. +ボタンまたは-ボタンを使って **SD完全初期化** 項目を選択（反転表示）し、**ENTER/MARK**ボタンまたは▶▶ボタンを押すと、**実行** が反転表示します。
2. **ENTER/MARK**ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。



3. **ENTER/MARK**ボタンを押して、SDの完全初期化を実行します。
SDの完全初期化をしない場合は、**o/I (HOME)**[■] ボタンを押します。

注意

SDの完全初期化の実行は、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）を使用するか、パソコンとのUSB/バスパワー接続状態で行うか、電池の残量が十分な状態で行ってください。
初期化中に電池切れになると、正常な初期化ができない場合があります。

メモ

SDカードがSDXCの場合はこの機能を使用できません。SDの初期化機能をご使用ください。（→ 61ページ「SD初期化する」）

ファイル名の形式を設定する

本機で録音するファイル名の形式を設定することができます。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **その他** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押して **その他** 画面を表示します。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って **ファイル名設定** メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
ファイル名設定画面が表示されます。



◀◀ボタン、▶▶ボタン、および+ボタンまたは-ボタンを使って、各項目の設定をします。

この画面の各項目で、以下の設定を行うことができます。

ファイル名の形式

タイプ項目で、ワードか日付かを設定します。

選択肢：ワード（初期値）、日付

ワード：ワードで設定した6文字をファイル名に付けます。

（例）TASCAM_0001S12.wav

日付：日付をファイル名に付けます。

（例）110101_0000.wav

メモ

日付は、本体内の時計をもとに設定されます。（→17ページ「日時を設定する」）

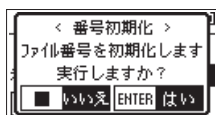
文字（ワード）の設定

ワード項目で、◀◀ボタンまたは▶▶ボタンでカーソルを移動し、+ボタンまたは-ボタンを使って文字を設定します。

文字は、英数の他に、記号「! # \$ % & ' () + , . - : = @ [] ^ _ ` { }」が使用可能です。

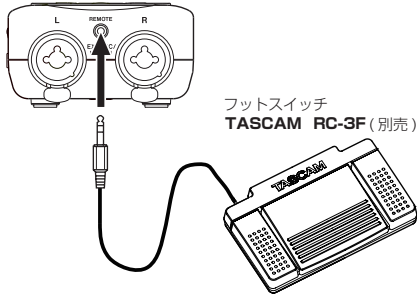
数字（番号）の初期化設定

番号初期化項目で、ENTER/MARKボタンを押して実行すると、この以降のファイル作成時より、ワード項目で設定した文字に続く数字部分が、0001から始まります。



本機には、REMOTE端子が用意されています。別売の専用のフットスイッチ型リモコン (TASCAM RC-3F) または別売の専用ワイヤードリモコン (TASCAM RC-10) を接続して、本機を操作することができます。

フットスイッチを使う (TASCAM RC-3F)



フットスイッチを設定する

リモート設定 画面で、フットスイッチの設定を行います。

1. MENUボタンを押して、メニュー 画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って その他 メニュー項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押して その他 画面を表示します。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って リモート設定 メニュー項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押して リモート設定 画面を表示します。



4. +ボタンまたは-ボタンを使って リモコン メニュー項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
5. リモコン 項目を+ボタンまたは-ボタンを使って、RC-3F を選択します。(初期値: RC-3F)
6. ◀◀ボタンと+ボタンまたは-ボタンを使って モード メニュー項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。

7. モード 項目を+ボタンまたは-ボタンを使って変更します。

選択肢: 再生 (初期値)、録音1、録音2、議事録

モード	フットスイッチ		
	L	C	R
再生	◀◀	▶/	▶▶
録音1	■	●/	INC
録音2	■	●/	MARK
議事録	↺	▶/	VSA

INC :トラックインクリメント機能

MARK :マーク機能

VSA :VSA機能のオン/オフ

↺ :戻り再生機能

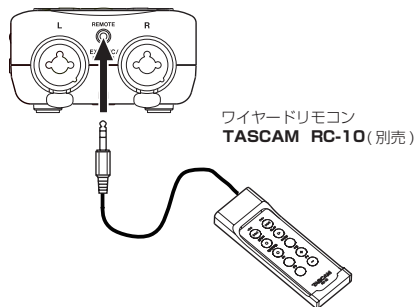
(上記以外は、本体機能と同じです)

8. 設定が終了したら、◀/1 (HOME) [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

フットスイッチを使う

フットスイッチの各ペダルを踏むと、リモート設定 画面で割り当てられた動作を行います。

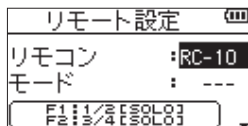
リモコンを使う (TASCAM RC-10)



ワイヤードリモコンを設定する

リモート設定 画面で、ワイヤードリモコンの設定を行います。

1. MENUボタンを押して、メニュー 画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って **その他** メニュー項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押して **その他** 画面を表示します。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って **リモート設定** メニュー項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押して **リモート設定** 画面を表示します。
4. +ボタンまたは-ボタンを使って **リモコン** メニュー項目を選択 (反転表示) し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
5. **リモコン** 項目を+ボタンまたは-ボタンを使って、RC-10 を選択します。(初期値: RC-3F)



6. 設定が終了したら、◁/ (HOME) [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

ワイヤードリモコンを使う

ワイヤードリモコンの各ファンクションボタン (F1~F4) を押すと、リモート設定 画面で割り当てられた動作を行います。

各モードの詳細

モード	ファンクションボタン			
	F1	F2	F3	F4
---	1/2 [SOL0]	3/4 [SOL0]	INPUT VOL +	INPUT VOL -

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。

DR-40では、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
ファイル名が不正です (File Name ERR)	ファイル名の文字数が197文字以上の場合、ファイル分割ができません。パソコンと接続し、196文字以下のファイル名に変更してください。
同名ファイルがあります (Dup File Name)	ファイル分割により作成されるファイルと同じファイル名のファイルが同じフォルダー内にすでに存在します。ファイル分割を行うとファイル名の末尾に「a」または「b」が追加されます。ファイル分割を行う前にパソコンと接続し、ファイル名を変更してください。
ファイルが見つかりません (File Not Found)	再生リストに登録されているファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。対象のファイルを確認してください。
動作対象外ファイル (Non-Supported)	ファイル形式がサポート対象外です。取り扱い可能なファイル形式については、「第11章 パソコンと接続する」をご覧ください。
電池残量がありません (Battery Empty)	電池の残量がありません。電池を交換してください。
間隔が短かすぎます (I/O Too Short)	IN点(始点)とOUT点(終点)の間隔が短すぎます。1秒以上空けて設定してください。
再生リストのファイルがありません (File Not Found PLAYLIST)	再生リストに登録されているファイルが見つかりません。MUSICフォルダー内に対象のファイルがあるか確認してください。
再生リストがありません (No PLAYLIST)	再生リストにファイルが登録されていません。再生リストにファイルを登録するか、 再生対象 を「再生リスト」以外に設定してください。
再生リストがいっぱいです (PLAYLIST Full)	再生リストがいっぱいです。再生リストには、最大99ファイルまで登録可能です。
MBRエラー SDを初期化します (MBR Error Init CARD)	SDカードが正常に初期化されていないか、SDカードが壊れている可能性があります。SDカードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で ENTER/MARK ボタンを押すと、初期化が実行されます。初期化が実行されるとSDカード内のデータは、全て消去されます。
フォーマットエラー SDを初期化します (Format Error Format CARD)	SDカードが正常に初期化されていないか、SDカードが壊れている可能性があります。このメッセージは、USB接続したパソコンで初期化した場合や初期化されていないSDカードを挿入した場合にも表示されます。SDカードの初期化は、必ずDR-40本体で行ってください。SDカードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で ENTER/MARK ボタンを押すと、初期化が実行されます。初期化が実行されるとSDカード内のデータは、全て消去されます。
ファイルがありません システムを再構築します (File Not Found Make Sys File)	本機を使用するために必要なシステムファイルがありません。このメッセージが表示されている状態で ENTER/MARK ボタンを押すと、システムファイルが作られます。
システムファイルエラー システムを再構築します (Invalid SysFile Make Sys File)	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常ではありません。このメッセージが表示されている状態で ENTER/MARK ボタンを押すと、新しいシステムファイルが作られます。
SDカードエラー 交換してください (Invalid Card Change Card)	SDカードが正常でない可能性があります。SDカードを交換してください。
書き込み速度不足です (Write Timeout)	SDカードへの書き込みが間に合いませんでした。ファイルをパソコンへバックアップの上、 SD完全初期化 を実行してください。
カードがいっぱいです (Card Full)	SDカードの残容量がありません。不要なファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
分割できません (Can't Divide)	ファイル分割実行時に分割位置が適切ではありません。(曲の先頭、曲の最後)
録音時間の限界に到達 (Max File Size)	ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。あるいは、フォルダーとファイルの総数が制限値(5000個)のときに録音時間が24時間を超えました。
フォルダー総数限界に到達 (File Full)	フォルダーとファイルの総数が制限値(5000個)を超えました。不要なフォルダーやファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
カードエラー (Card Error)	SDカードを正常に認識できません。SDカードを交換してください。

第14章 メッセージ

メッセージ	内容と対処方法
MP3非対応の機能です (Current File MP3)	MP3ファイルの分割はできません。
ファイルが保護されています (File Protected)	読み取り専用ファイルのため、削除できません。
カードがありません (No Card)	SDカードがセットされていません。録音可能なSDカードを挿入してください。
再生できるファイルがありません (No PB File)	再生可能なファイルがありません。ファイルが壊れている可能性があります。
ファイルがありません (No MUSIC File)	再生ファイルが無いため、ファイル分割は実行できません。
オーバーダブできません 設定を確認してください (Cannot overdub! Use MINDOWN)	再生ファイルが96kHzのWAV / BWFまたはMP3フォーマットで2ファイル存在する場合、オーバーダブすることはできません。 ミックスダウンを行いひとつのファイルにまとめてからオーバーダブしてください。
MSデコーダーの設定を 確認してください (Using by Input)	MSデコーダーが入力で設定されています。モニターで使用する場合は、録音モード画面でMSデコード項目をオフしてください。
REC MODEで変更して下さい (Now DUAL REC)	デュアル録音モードで入力レベル制御機能の設定を変更する場合は、録音モード画面で行ってください。
オーバーダブ中は MSデコード使用不可です (Now OVERDUB)	MSデコーダーは、オーバーダブ録音モードでは使用できません。
バーチャルファイルです ファイル入替をして下さい (Virtual File !)	バーチャルファイルの再生、再生リスト登録はできません。 再生する場合は、ファイル入替を実行してください。
入替対象がありません (Can't File Swap)	ファイルが1つのみのプロジェクトでファイル入替はできません。
オートレック中はセルフタイマーを 使えません (Now Auto Rec)	オートレック機能が有効時には、セルフタイマーは機能しません。録音設定画面でオートレック項目をオフにしてください。
エラーが発生しました (Not Continued)	これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れ直してください。 電源を切ることができない場合は、電池や別売の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E) を取り外す、またはUSBバスパワー供給時はUSBケーブルを外してください。 これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。
ファイルエラー発生 (File Error)	
保存できません (Can't Save Data)	
再生エラー (Player Error)	
機器エラー (Device Error)	
書き込みに失敗しました (Writing Failed)	
システムエラー (Sys Rom Err)	
システムエラー-## (System Err ##)	
## は数字が入ります	

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

電源が入らない。

- 電池が消耗していませんか？
- 電池の⊕、⊖を間違えてセットしていませんか？
- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）の電源プラグおよびUSBコネクタがしっかりと差し込まれていますか？
- パソコンとUSBバスパワー接続しているときに、USBケーブルがしっかりと差し込まれていますか？
- パソコンとUSBバスパワー接続しているときに、USBハブを使用していませんか？

電源が自動的に切れてしまう。

- 自動電源制御機能が設定されていませんか？（→ 60ページ「電源の自動電源制御機能の設定」）
 - 本機は欧州待機時電力規制（ErP）に対応しているため、ACアダプター・電池使用時にかかわらず自動電源制御機能が動作します。自動電源制御機能を使用したくないときは「オフ」に設定してください（工場出荷時には「30分」に設定されています）。

本体で操作できない。

- HOLDスイッチが矢印方向にセットされていませんか？
- USB接続になっていませんか？

SDカードを認識しない。

- SDカードがしっかりと挿入されているか確認してください。

再生できない。

- WAVファイルの場合は、本機が対応しているサンプリング周波数であるかどうかを確認してください。
- MP3ファイルの場合は、本機が対応しているビットレートであるかどうかを確認してください。

スピーカーから音が出ない。

- ヘッドホンをつないでいませんか？
- **スピーカー設定** 画面の **スピーカー** 項目が **オフ** になっていませんか？
- モニターシステムは、きちんと接続されていますか？
- モニターシステムの音量が最小になっていませんか？
- 本機の出力レベル設定が最小になっていませんか？

録音できない。

- 接続をもう一度確認してください。
- 入力設定をもう一度確認してください。
- 入力レベルが低くなっていませんか？
- SDカード容量がいっぱいになっていませんか？
- ファイル数が最大数に達していませんか？

入力レベルが低い。

- 入力レベル設定が低くなっていませんか？
- 接続した外部機器の出力レベルが低くなっていませんか？

録音しようとする音が歪んで聞こえる。

- 入力レベルの設定が大きすぎませんか？
- エフェクターが掛かっていませんか？

再生音が不自然に聞こえる。

- 再生のスピードを変えていませんか？
- 再生イコライザーの設定状態を確認してください。
- 出力音量補正機能が有効になっていませんか？
- エフェクターがかかっていますか？

ファイルが消去できない。

- パソコンで読み取り専用を設定したファイルをコピーしたものを消去しようとしていませんか？

パソコン上に本機のファイルが表示されない。

- 本機がUSB端子経由でパソコンに接続されていますか？
- USBハブを使っていませんか？
- 本機が録音中、または録音待機中になっていませんか？

言語を間違えて設定してしまった。

- **φ/I (HOME)** [■] ボタンを押して電源をオフにした後、**MENU** ボタンを押しながら **φ/I (HOME)** [■] ボタンを押してください。言語選択メニューが表示され、言語の選択が可能となります。

定格

記録メディア

SDカード (64MB ~ 2GB)
SDHCカード (4GB ~ 32GB)
SDXCカード (48GB ~ 128GB)

録音再生フォーマット

BWF : 44.1k/48k/96kHz, 16/24ビット
WAV : 44.1k/48k/96kHz, 16/24ビット
MP3 : 44.1k/48kHz, 32k/64k/96k/128k/192k/
256k/320kbps

チャンネル数

4チャンネル (ステレオ x2)

入出力定格

アナログオーディオ入出力定格

EXT MIC/LINE IN 端子 (ファントム電源対応/XLRコネクタのみ)

コネクタ :
XLR-3-31
(1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)
6.3mm (1/4") TRS標準ジャック
(Tip : HOT, Ring : COLD, Sleeve : GND)

EXT INスイッチMIC時、MIC+PHANTOM時

入力インピーダンス : 2.2k Ω
基準入力レベル : -19dBV
最大入力レベル : -3dBV

EXT INスイッチLINE時

入力インピーダンス : 10k Ω 以上
基準入力レベル : +4dBu
最大入力レベル : +20dBu

Ω /LINE OUT 端子

コネクタ : 1/8" (3.5mm) ステレオミニジャック
出力インピーダンス : 12 Ω
基準出力レベル : -14dBV (10k Ω 負荷時)
最大出力レベル : +2dBV (10k Ω 負荷時)
最大出力 : 20mW + 20mW (ヘッドホン接続時、32 Ω 負荷時)

内蔵スピーカー

0.3W (モノラル)

コントロール入出力定格

USB 端子

コネクタ : Mini-B タイプ
フォーマット : USB2.0 HIGH SPEED マスストレージクラス

REMOTE端子

コネクタ : 2.5mm TRSジャック

オーディオ性能

周波数特性

20-20kHz + 1/-3dB
(EXT IN to LINEOUT, Fs44.1kHz, JEITA)
20-22kHz + 1/-3dB
(EXT IN to LINEOUT, Fs48kHz, JEITA)
20-40kHz + 1/-3dB
(EXT IN to LINEOUT, Fs96kHz, JEITA)

歪率

0.05%以下 (EXT IN to LINE OUT, Fs44.1k/48k/96kHz, JEITA)

S/N比

92dB以上 (EXT IN to LINE OUT, Fs44.1k/48k/96kHz, JEITA)
注) JEITA : JEITA CP-2150準拠

一般

電源

単3形電池3本 (アルカリ乾電池またはニッケル水素電池)
パソコンからのUSBバスパワー
専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E、別売)

消費電力

1.7W (最大時)

消費電流

0.34A (最大時)

電池持続時間（連続使用時）

● アルカリ乾電池（EVOLTA）使用時

フォーマット	持続時間	備考
2ch WAV、 96kHz、 24ビットで録音	約16時間	内蔵ステレオマイク 入力時
2ch WAV、 44.1kHz、 16ビットで録音	約20.5時間	内蔵ステレオマイク 入力時
2ch WAV、 44.1kHz、 16ビットで録音	約2時間	ファントム電源供給時
2ch MP3、 44.1kHz、 128kbpsで録音	約18時間	内蔵ステレオマイク 入力時
4ch WAV、 96kHz、 24ビットで録音	約8.5時間	内蔵ステレオマイク 入力時+ライン入力時
4ch WAV、 44.1kHz、 16ビットで録音	約9時間	内蔵ステレオマイク 入力時+ライン入力時
4ch MP3、 44.1kHz、 128kbpsで録音	約9.5時間	内蔵ステレオマイク 入力時+ライン入力時
2ch WAV、 96kHz、 24ビットで再生	約16時間	ヘッドホン使用時
2ch WAV、 44.1kHz、 16ビットで再生	約21.5時間	ヘッドホン使用時
2ch MP3、 44.1kHz、 128kbpsで再生	約17.5時間	ヘッドホン使用時
4ch WAV、 96kHz、 24ビットで再生	約15.5時間	ヘッドホン使用時
4ch WAV、 44.1kHz、 16ビットで再生	約17.5時間	ヘッドホン使用時
4ch MP3、 44.1kHz、 128kbpsで再生	約16.5時間	ヘッドホン使用時

録音時：JEITA録音時、再生時：JEITA音楽再生時

● ニッケル水素電池（eneloop）使用時

フォーマット	持続時間	備考
2ch WAV、 96kHz、 24ビットで録音	約12時間	内蔵ステレオマイク 入力時
2ch WAV、 44.1kHz、 16ビットで録音	約17時間	内蔵ステレオマイク 入力時
2ch WAV、 44.1kHz、 16ビットで録音	約3時間	ファントム電源供給時
2ch MP3、 44.1kHz、 128kbpsで録音	約15時間	内蔵ステレオマイク 入力時
4ch WAV、 96kHz、 24ビットで録音	約8時間	内蔵ステレオマイク 入力時+ライン入力時
4ch WAV、 44.1kHz、 16ビットで録音	約8.5時間	内蔵ステレオマイク 入力時+ライン入力時
4ch MP3、 44.1kHz、 128kbpsで録音	約8.5時間	内蔵ステレオマイク 入力時+ライン入力時
2ch WAV、 96kHz、 24ビットで再生	約14時間	ヘッドホン使用時
2ch WAV、 44.1kHz、 16ビットで再生	約17.5時間	ヘッドホン使用時
2ch MP3、 44.1kHz、 128kbpsで再生	約14.5時間	ヘッドホン使用時
4ch WAV、 96kHz、 24ビットで再生	約13時間	ヘッドホン使用時
4ch WAV、 44.1kHz、 16ビットで再生	約15時間	ヘッドホン使用時
4ch MP3、 44.1kHz、 128kbpsで再生	約15時間	ヘッドホン使用時

録音時：JEITA録音時、再生時：JEITA音楽再生時

メモ

電池持続時間（連続動作時）は、お使いの記録メディアにより記載された値から変動することがあります。

第16章 仕様

外形寸法

70 x 155 x 35mm (幅 x 高さ x 奥行き、マイク閉状態)

90 x 155 x 35mm (幅 x 高さ x 奥行き、マイク開状態)

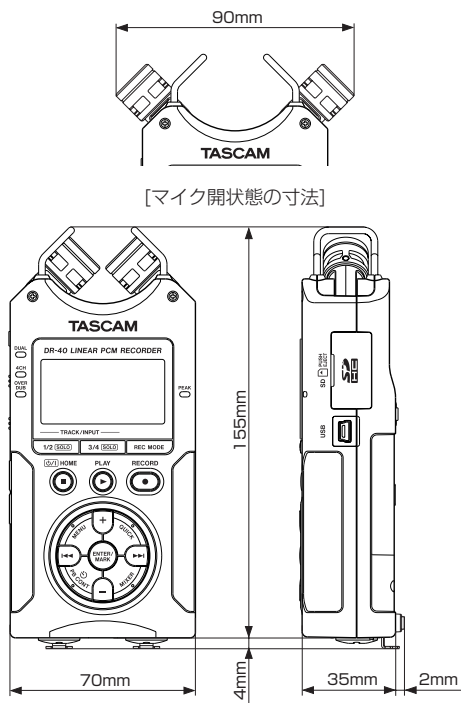
質量

285g / 213g (電池を含む / 電池を含まず)

動作温度

0 ~ 40℃

寸法図



- リファレンスマニュアルのイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-809

市内通話料でOK
ナビダイヤル。一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

市内通話料でOK
ナビダイヤル。一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。